

第3期行財政経営計画



本市のまちづくりの指針である「第5次鈴鹿市総合計画」が策定され6年が経過し、第2期行財政経営計画は、平成23年度末で計画期間の終了を迎えることとなります。

この間、鈴鹿市の将来都市像である「市民一人ひとりが夢や生きがいをもって安心して暮らせるまち すずか」の実現に向けて、様々な施策に取り組んできましたが、計画策定時と比べ、地方分権の推進、東日本大震災の発生など本市を取り巻く状況は大きく変わってきました。

第3期行財政経営計画では、このような状況に対応するため、危機に対応できるまちづくり、次世代を担う子供たちが健やかに成長できる環境整備などを念頭に置いて策定に努めました。

今後は、将来に向けて持続可能な都市・鈴鹿を創り上げていくため、基礎自治体としての更なる能力の充実を図り、本計画を着実に実行することによって、元気で魅力あふれる力強いまちづくりを進めてまいります。

最後に、計画の策定にあたりまして、数多くの貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆さまをはじめ、熱心にご審議をいただきました市議会、鈴鹿市総合計画審議会の皆様など関係者の方々に心からお礼申し上げます。

平成24年3月

鈴鹿市長 末松 則子

体 系 図

● 政策 1 「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります	
— 施策 1 生涯学習の推進	・ ・ ・ ・ ・ P 1
— 施策 2 学びの場の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 4
— 施策 3 子どもを育てやすい環境づくり	・ ・ ・ ・ ・ P 7
— 施策 4 子どもの教育の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 11
— 施策 5 生涯スポーツの推進	・ ・ ・ ・ ・ P 20
— 施策 6 みんなでまもり、育てる青少年の健全育成	・ ・ ・ ・ ・ P 23
● 政策 2 魅力ある「すずか文化」を受け継ぎ、生み出していきます	
— 施策 7 文化財の保護・保存・継承・活用	・ ・ ・ ・ ・ P 26
— 施策 8 文化活動の促進	・ ・ ・ ・ ・ P 28
● 政策 3 環境への負荷の少ない循環型社会を進めます	
— 施策 9 ごみ減量活動の推進	・ ・ ・ ・ ・ P 31
— 施策 10 地球温暖化防止活動の推進	・ ・ ・ ・ ・ P 35
● 政策 4 自然環境を保全するとともに、快適な生活環境を維持します	
— 施策 11 緑豊かな自然と共生したまちづくり	・ ・ ・ ・ ・ P 39
— 施策 12 生活排水対策の推進	・ ・ ・ ・ ・ P 42
— 施策 13 良好な生活環境の確保	・ ・ ・ ・ ・ P 46
● 政策 5 みんなで支えあう福祉のまちをつくります	
— 施策 14 福祉サービスの充実	・ ・ ・ ・ ・ P 49
— 施策 15 労働環境の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 56
● 政策 6 いつも健康で暮らせるまちにします	
— 施策 16 健康づくりの推進	・ ・ ・ ・ ・ P 59
— 施策 17 医療体制・制度の充実	・ ・ ・ ・ ・ P 62

● 政策 7	一人ひとりの人権が尊重され、誰もが参画できる社会の実現をめざします	
— 施策 18	平等で平和な社会の実現	P 66
— 施策 19	共生社会の実現	P 70
— 施策 20	男女共同参画社会の実現	P 72
● 政策 8	人・物・情報が活発に行き交うまちをつくります	
— 施策 21	人・物がスムーズに行き交う交通網の充実	P 74
— 施策 22	経済活動が活発化する市街地の創造	P 78
— 施策 23	情報通信インフラの活用と次世代への対応	P 80
● 政策 9	地域の個性と暮らしの利便性を高めます	
— 施策 24	生活の快適性・利便性の向上	P 82
— 施策 25	景観に配慮しつつ個性を活かした計画的なまちづくり	P 86
● 政策 10	地域経済を支える豊かな産業を活かします	
— 施策 26	蓄積された知識と技術の活用による競争力の向上	P 89
— 施策 27	持続的で安定した経営基盤づくり	P 92
● 政策 11	新たな活力を生み出す産業を振興します	
— 施策 28	新ビジネスの創造と産業の振興	P 101
— 施策 29	豊かな自然と観光資源の活用	P 107
● 政策 12	災害に強いまちづくりを推進します	
— 施策 30	防災対策の推進	P 110
— 施策 31	浸水・治水対策の推進	P 113
— 施策 32	地震災害対策の推進	P 117

●政策 1 3 安全なまちをめざします

- 施策 3 3 消防力の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 2 0
- 施策 3 4 交通安全対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 2 3
- 施策 3 5 建築物の安全性確保・・・・・・・・・・・・・・ P 1 2 8

●政策 1 4 安心できる市民生活を確保します

- 施策 3 6 防火・防犯対策の推進・・・・・・・・・・・・・・ P 1 3 0
- 施策 3 7 救急・救命対策の推進・・・・・・・・・・・・・・ P 1 3 3
- 施策 3 8 上水道の安定供給・・・・・・・・・・・・・・ P 1 3 6
- 施策 3 9 相談機能の拡充・・・・・・・・・・・・・・ P 1 4 2

●主要テーマ 1 市民みんなで取り組むまちづくりをめざします

- 施策 4 0 市民参加が活発なまちづくり・・・・・・・・・・ P 1 4 5
- 施策 4 1 市民との情報共有の推進・・・・・・・・・・・・ P 1 4 8

●主要テーマ 2 時代の変化に対応した行政経営をめざします

- 施策 4 2 自治力の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1 5 1
- 施策 4 3 効果的・効率的な行政経営・・・・・・・・・・・・ P 1 5 7
- 施策 4 4 適正な事務運営・・・・・・・・・・・・・・ P 1 6 3

第 1 部

第 3 期行財政経営計画



行財政経営計画の用語解説

- ◆ビジョン
各施策を実行することによって、達成したい、めざす地域のすがたを記載しています。
- ◆ミッション
ビジョンを達成するために、各施策において実行する行政の使命や役割を記載しています。
- ◆重点戦略
各施策において、「鈴鹿市戦略計画書」に位置づけられた戦略が該当する場合に、その戦略名を記載しています。
- ◆鈴鹿市戦略計画書
市のめざすべき将来都市像の実現に向け、政策を推進する12部局（企画財務部、総務部、生活安全部、文化振興部、環境部、保健福祉部、産業振興部、土木部、都市整備部、水道局、教育委員会、消防本部）が所管する分野のめざすべき地域社会の姿や目標を実現するために実施する活動について、社会経済動向を先読みした施策展開や経営資源の投入方針を明らかにしたものです。
- ◆成果指標
各単位施策において、活動の結果、目的に照らしてどのような成果があったかを数値で示しています。
目標の実現に向けて、具体的な目標となる項目を定め、そのめざすべき水準について、定量的に分かりやすく示すとともに、単位施策の成果を把握していくための指標です。
- ◆資源投入の方向性
各単位施策において、人や財源を今後4年間どう投入していくのかを示しています。
「①拡大します、②現状を維持します、③縮小します」の3つから選択して記入しています。

第1章 人と文化を育むまちづくり

§ 政策－1

「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります

● 施策－1：生涯学習の推進

—担当部：文化振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

誰もが豊かな人生を送るために公民館など身近な場所で学習活動に取り組み、学んだことを地域社会づくりに活かしています。

地域・家庭・学校が一体となった青少年育成活動により、地域社会の中で、青少年が健全に育っています。

【行政の使命（ミッション）】

生涯学習の機会提供と環境整備による学習活動の支援を行い、学んだことを地域社会で活用できる環境づくりを進めます。

地域・家庭・学校の連携を深め、青少年育成活動を支援し、青少年が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めます。

【重点戦略】

◆ 地域における学習活動の推進（文化振興部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－1：地域・家庭・学校の連携による青少年育成活動の支援**

—担当課：生涯学習課—

《概要》

青少年育成団体活動への支援を行います。また、地域・家庭・学校との連携を密にした市民参加の事業を実施します。

目的		青少年育成活動が活性化している。		
成果 指標	指標名	市民学習活性化事業 （家庭教育支援のための研修会等）への参加者満足度	目標値 (H27年度)	90%
	指標設定 根拠・背景	市民学習活性化事業に対する参加者満足度の増加が、青少年育成活動の活性化につながる。	現状値 (H22年度)	67%
資源投入 の方向性			現状を維持します	


◇ 単位施策－２：地域における学習活動の推進

—担当課：生涯学習課—

《概要》

生涯学習推進のために、情報提供を充実します。

また、公民館活動を支援し、公民館等を安全かつ快適に利用できるように整備します。

目 的		市民の学習意欲が向上し、心豊かな生活を送っている。		
成果 指標	指標名	学習活動への年間参加者数	目標値 (H27年度)	520,000人
	指標設定 根拠・背景	学習活動への参加者数が増加することは、学びに対する意欲の向上を示し、それが多くなることにより、市民が心豊かな生活を送ることにつながる。	現状値 (H22年度)	445,209人
資源投入 の方向性			拡大します	

●施策－２：学びの場の充実

—担当部：企画財務部，文化振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

多くの市民が図書館など身近な場所で学習活動に取り組んでいます。また，高等教育機関が市や地域と連携し，地域社会づくりを行っています。

【行政の使命（ミッション）】

市民活動を支援するため図書館の機能充実を図りながら，地域で利用しやすい図書館サービスを提供します。

また，学官連携協議会議^{※1}を通じ，高等教育機関との連携を深めます。

【重点戦略】

◆なし

※1「学官連携協議会議」・・・鈴鹿市と市内各高等教育機関（鈴鹿医療科学大学，鈴鹿国際大学，鈴鹿短期大学，鈴鹿工業高等専門学校）が課題の共有や意見交換を行う場として，各学校ともに年1回ずつ開催している会議


【具体的な取組】

◇ 単位施策－３：図書館サービスの充実

—担当課：図書館—

《概要》

市全域で図書館の利用ができるよう地域サービス事業を整備して、図書館サービスを拡充します。


目的		市民が、多様で充実した図書館サービスを市全域で受けている。		
成果指標	指標名	貸出冊数	目標値 (H27年度)	750,000冊
	指標設定 根拠・背景	貸出冊数が増加することは、多くの市民が図書館サービスを受けている状態であり、図書館サービスの充実につながる。	現状値 (H22年度)	707,793冊
資源投入の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－４：高等教育機関との連携

—担当課：企画課—

《概要》

市内の高等教育機関及び三重大学と相互の課題や情報の共有を図り、高等教育機関の地域貢献事業を進めます。

目的		市内等の高等教育機関が、市や市民と連携して活動し、地域の活性化と教育・文化振興が行われている。		
成果 指標	指標名	学官連携協議会議※2を通じて取組を行った事業数（年間）	目標値 (H27年度)	25事業
	指標設定 根拠・背景	連携が深まり取り組む事業数が増加することにより、地域の活性化等につながる。	現状値 (H22年度)	21事業
資源投入 の方向性			現状を維持します	

※2「学官連携協議会議」・・・鈴鹿市と市内各高等教育機関（鈴鹿医療科学大学、鈴鹿国際大学、鈴鹿短期大学、鈴鹿工業高等専門学校）が課題の共有や意見交換を行う場として、各学校ともに年1回ずつ開催している会議

●施策－3：子どもを育てやすい環境づくり

—担当部：保健福祉部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

誰もがゆとりある環境の中，社会に温かく見守られながら子育てをしています。

【行政の使命（ミッション）】

誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境を整え，子育て家庭を地域社会全体で支援するまちづくりを実現します。

【重点戦略】

◆子育て家庭への支援（保健福祉部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－５：生み育てやすい地域社会づくり

—担当課：子育て支援課—

《概要》

市内全域での子育て支援施設として、保育所等※³の機能をさらに充実させます。

目的		市内全域において、子育て家庭の交流ができる拠点を活用して、子育て中の親の負担が緩和されている。		
成果指標	指標名	地域子育て支援拠点事業※ ⁴ の年間利用者数	目標値 (H27年度)	78,000人
	指標設定 根拠・背景	利用者が増加することは、より多くの子育て家庭に支援サービスが提供されることを示し、さらに、子育て中の親の負担の緩和につながる。	現状値 (H22年度)	73,423人
資源投入の方向性			現状を維持します	

※³「保育所等」・・・公立保育所、私立保育所、つどいの広場、子育て支援センター「りんりん」・「ハーモニー」、勤労青少年ホーム「はぐはぐ」


※⁴「地域子育て支援拠点事業」・・・子育て親子の交流を促進する子育て支援拠点の設置を推進し、子どもの健やかな育ちを促進する事業

◇ 単位施策－6：子育て家庭への支援

—担当課：子育て支援課—

《概要》

子育て家庭の経済的・精神的な支援と、働きやすい環境整備を行います。

目的		放課後児童クラブの施設・設備等の環境整備を行うことにより、安全安心な子どもの居場所が確保されているとともに保護者の仕事と子育ての両立が図られている。		
成果指標	指標名	分設 ^{※5} や耐震性等の環境整備済みの放課後児童クラブ数	目標値 (H27年度)	30か所
	指標設定 根拠・背景	老朽化や耐震性の低い放課後児童クラブの計画的な環境整備を行うことは、安全安心で快適に過ごせる子どもの居場所の確保につながる。	現状値 (H22年度)	28か所
資源投入の方向性			拡大します	


※5「分設」・・・国の方針により、児童数71名以上の放課後児童クラブを2つに分けること。

◇ 単位施策－7：保育環境の充実

—担当課：子育て支援課—

《概要》

入所児童が快適に過ごせる安全安心な保育施設を整備します。

目的		適正規模の定員を確保するため、幼保一元化も図りつつ、老朽化が著しい公立保育所施設の合理的整備が行われている。		
成果 指標	指標名	建て替え済みの公立 保育所数	目標値 (H27年度)	2園
	指標設定 根拠・背景	建て替えを行うこと によって、安心・安全で快 適に過ごせる保育施設 の確保につながる。	現状値 (H22年度)	未実施
資源投入 の方向性			現状を維持します	

●施策－４：子どもの教育の充実

—担当部：教育委員会事務局—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

学校の良好な教育環境が整備されるとともに、家庭・学校・地域が一体となった地域ぐるみの教育環境づくりが進んでいます。その中で、幼児から中学生までの全ての子どもたちが、「基本的生活習慣」を基盤として「自ら学び自立する力」と「共に学び支え合う力」を身に付け、「未来を拓く心豊かでたくましい子ども」に育っています。

【行政の使命（ミッション）】

鈴鹿市教育振興基本計画の基本目標である「未来を拓く心豊かでたくましい子どもを育む鈴鹿の教育」の実現を目指し、学校の良好な教育環境を基盤とした教育を推進するため、学校施設等の計画的な整備を進めます。併せて、学力保障の推進、キャリア教育の充実、多文化共生教育の推進、特別支援教育の推進等を図るとともに、地域ぐるみの教育環境づくりを進めます。また、公立幼稚園再編整備を計画的に進めます。

【重点戦略】

- ◆学校施設等の計画的な整備（教育委員会事務局）
- ◆学力保障の推進（教育委員会事務局）
- ◆キャリア教育の充実（教育委員会事務局）
- ◆多文化共生教育の推進（教育委員会事務局）
- ◆特別支援教育の推進（教育委員会事務局）
- ◆地域ぐるみ教育環境づくり（教育委員会事務局）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－８：子どもの教育環境の充実**

—担当課：教育総務課—

《概要》

子どもたちが安心して学ぶための環境整備を行います。


目 的		子どもたちが、良好な教育環境で教育を受けている。		
成果 指標	指標名	実施計画登載事業の 進捗率	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	実施計画登載事業が計画どおり実施されることは、教育環境の改善が図られることにつながる。	現状値 (H22年度)	100%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－9：就学前教育の充実

—担当課：学校教育課，教育総務課—

《概要》

公立幼稚園の再編整備を進めます。また，私立幼稚園に各種補助金を交付します。


目 的		公立幼稚園の再編整備により，効率的な運営による就学前教育を受けている。		
成果 指標	指標名	再編整備された公立幼稚園数	目標値 (H27年度)	1園
	指標設定 根拠・背景	保育所との一元化を視野に入れた再編整備をすることで，効率的で適正な規模による運営がなされ，幼稚園児が充実した就学前教育を受けることにつながる。	現状値 (H22年度)	未実施
資源投入 の方向性			縮小します	

◇ 単位施策－１０：学校教育の充実

—担当課：学校教育課—

《概要》

児童生徒の学力保障や心身の健康増進，保護者への経済的な支援を通し，学校教育の充実を図ります。


目 的		児童生徒が健康で明るく学びながら，生きる力の基礎を身に付けている。		
成果 指標	指標名	少人数学級編制の実施率	目標値 (H27年度)	98.0%
	指標設定 根拠・背景	少人数学級編制の割合が増加することは，きめ細かな学級運営や教科指導がなされていることを示し，児童生徒の学力保障や心身の健康増進につながる。	現状値 (H22年度)	95.1%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－ 1 1 : 学校教育を支える地域社会づくり

—担当課：青少年課—

《概要》

学校と地域とが一体となって子どもの教育や健やかな成長を育む教育環境づくりを進めます。


目 的		保護者や地域住民が学校教育活動に参画し，地域ぐるみで子どもの教育に取り組んでいる。		
成果 指標	指標名	市内小・中学校の学校 支援ボランティア登録者数	目標値 (H27年度)	7,100人
	指標設定 根拠・背景	学校教育活動に参加する地域の登録者が増えることで，学校教育への理解が深まり，地域ぐるみで子どもを教育する環境づくりにつながる。	現状値 (H22年度)	5,679人
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－１２：確かな学力づくり

—担当課：指導課—

《概要》

児童生徒一人ひとりの学力を保障するため、きめ細かな指導を行います。

目 的		子どもたちの学力が全国標準に到達している。		
成果 指標	指標名	全国学力・学習状況調査※6の国語・算数(数学)の「知識」「活用」問題の結果がいずれも全国平均を上回る学校数の割合	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	全国平均を上回るとは、児童生徒の学力が保障されていることにつながる。	現状値 (H22年度)	数値なし
資源投入 の方向性			拡大します	


※6「全国学力・学習状況調査」・・・全国の小学6年生、中学3年生を対象に国語、算数(数学)における「知識」と「活用」についての学習状況を把握、分析するために文部科学省が実施する調査。

◇ 単位施策－１３：人権教育の推進

—担当課：人権教育課—

《概要》

子どもたちの豊かな人権感覚を育み、ともに生きていくことの素晴らしさを実感できる教育活動に取り組みます。


目的		子どもたちの人権感覚が高まり、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に寄与する意欲が高まっている。		
成果 指標	指標名	外国人生徒の高等学校進学率	目標値 (H27年度)	98%
	指標設定 根拠・背景	外国人生徒の高等学校進学率の向上は、一人ひとりの子どもの人権が保障される多文化共生社会の実現につながる。	現状値 (H22年度)	95%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－14：学校教育の支援・研究

—担当課：教育研究所—

《概要》

教育現場における今日的な課題に対応した研修講座の開設や、指導資料の作成等、教職員の資質向上に向けた支援・研究を行います。


目 的		教職員が今日的な課題に対応でき、適切に教育が行われている。		
成果 指標	指標名	研修講座受講者数	目標値 (H27年度)	2,500人
	指標設定 根拠・背景	研修講座受講者数の増加により、教職員の資質が向上し、教職員が今日的な課題に対応でき、適切な教育が行われることにつながる。		現状値 (H22年度) 2,186人
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－１５：教育相談の充実

—担当課：教育研究所—

《概要》

不登校・いじめ・集団不適応・問題行動・就学問題等，様々な課題の解決に向けて，教育相談体制を充実します。

目的		幼児・児童・生徒とその保護者及び学校関係者が課題の解決に向けて，いつでも気軽に相談できる体制が整っている。		
成果指標	指標名	不登校児童生徒の割合	目標値 (H27年度)	1.20%
	指標設定 根拠・背景	不登校の児童生徒が減少することは，いつでも気軽に教育相談ができる体制が整ってきていることを表す。	現状値 (H22年度)	1.40%
資源投入の方向性			現状を維持します	

●施策－５：生涯スポーツの推進

—担当部：文化振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

ハイレベルなスポーツ大会の開催や情報交換が行われています。

各地域において、健康づくりや相互交流の観点から、ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、ファミリーバドミントンなどのニュースポーツ等が普及し、スポーツによる新たなコミュニティが形成されています。

【行政の使命（ミッション）】

県や各競技団体、企業等が開催するスポーツイベントへの支援を進めます。

小学校区を基軸とした生活圏の中で、生涯スポーツ推進の核となるスポーツ推進委員を中心に、誰もが気軽に参加できるニュースポーツ教室等の事業を展開します。

体育協会との連携により、スポーツ医科学を取り入れた講習会等を進めます。

【重点戦略】

- ◆市民参加型スポーツの推進（文化振興部）
- ◆快適に利用できる運動施設の整備・運営（文化振興部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－１６：市民参加型スポーツの推進**

—担当課：スポーツ課—

《概要》

「市民一人ひとりのスポーツ」をめざし、各々の目的を持って楽しめるスポーツ行事や教室等を企画、開催します。


目的		市民がスポーツ活動に親しみながら、健康的な生活を送っている。		
成果 指標	指標名	市主催の各種スポーツ行事・教室等への年間参加者数	目標値 (H27年度)	26,000人
	指標設定 根拠・背景	市主催の各種スポーツ行事・教室等への参加者が増加することは、市民がスポーツ活動に親しみながら健康的な生活を送っていくことにつながる。	現状値 (H22年度)	22,116人
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－１７：快適に利用できる運動施設の整備・運営

—担当課：スポーツ課—

《概要》

運動施設が快適に利用できるよう整備・充実を図ります。

目的		運動施設が整備・充実され、多くの市民に利用されている。		
成果 指標	指標名	運動施設及び学校体育施設の年間利用者数	目標値 (H27年度)	1,050,000人
	指標設定 根拠・背景	年間利用者数の増加は、運動施設が整備・充実され、多くの市民に利用されていることを表す。	現状値 (H22年度)	1,014,559人
資源投入 の方向性			拡大します	

●施策－6：みんなでまもり，育てる青少年の健全育成

—担当部：教育委員会事務局—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

「安全安心」のネットワークが充実し，子どもたちが安心して登下校したり，地域で過ごしたりできる安全で安心な地域環境が整備されているとともに，子どもたちの基本的な生活習慣の改善に向けた機運が地域に高まっています。

【行政の使命（ミッション）】

市民パトロール隊や学校安全安心パトロール隊の相互連携を深め，地域における安全安心な環境づくりを整備するとともに，パトロール隊の研修会を開催し，隊員の資質向上とリーダー育成を図ります。

また，子どもたちの基本的な生活習慣の向上をめざして，「早寝早起き朝ごはん運動」の充実・拡大を図ります。


【具体的な取組】

◇ 単位施策－１８：子どもの安全安心ネットワークの充実

—担当課：青少年課—

《概要》

学校・家庭・地域が連携した安全安心パトロール隊との連携強化，子どもの危険予知・回避能力の育成等に取り組み，子どもの安全安心確保に向けた活動を支援します。


目 的		子どもたちが安全で安心な地域で育っている。		
成果 指標	指標名	パトロール隊活動への参加人数	目標値 (H27年度)	5,200人 以上
	指標設定 根拠・背景	見守り活動をする大人が増えることは，子どもの安全安心ネットワークの充実につながる。	現状値 (H22年度)	4,535人
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－１９：青少年の健全育成

—担当課：青少年課—

《概要》

鈴鹿市青少年対策推進本部が中心となり，市民，関係機関等と連携し，横断的・総合的に青少年の健全育成を行います。

目 的		青少年が健全育成活動に参加し，健やかに育っている。		
成果 指標	指標名	あいさつ運動への児童会・生徒会役員の参加者数	目標値 (H27年度)	50,000人
	指標設定 根拠・背景	あいさつ運動へ参加する児童生徒が増えることは，基本的な生活習慣の向上を図るとともに規範意識を育むことにつながる。	現状値 (H22年度)	29,750人
資源投入 の方向性			現状を維持します	

§ 政策－ 2

魅力ある「すずか文化」を受け継ぎ、生み出していきます

●施策－ 7：文化財の保護・保存・継承・活用

—担当部：文化振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

誰もが文化財に親しむことによって、地域に対する誇りと愛着を抱いています。また、文化財をまちづくりに活用しています。

【行政の使命（ミッション）】

文化財の調査、研究及び保護により、考古博物館や各資料館を活用したまちづくりを行います。

また、文化財の環境整備などをおして、郷土意識の向上をめざします。

【重点戦略】

◆文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進（文化振興部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－20：文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進

—担当課：文化課，考古博物館—

《概要》

文化財を保護・保存し，次世代に継承するとともに，市民の文化財に対する関心を高め，活用の機会充実を進めます。

目的		文化財が，後世に伝えられるよう保護・保存されており，市民が文化財に親しんでいる。		
成果指標	指標名	博物館等※7来館者数	目標値 (H27年度)	33,000人
	指標設定 根拠・背景	博物館等への来館者が増加することは，市民の文化財への関心が高まり，文化財に親しんでいることを表す。	現状値 (H22年度)	27,204人
資源投入の方向性			拡大します	

※7「博物館等」・・・考古博物館，佐佐木信綱記念館，庄野宿資料館，伊勢型紙資料館，稲生民俗資料館，大黒屋光太夫記念館，前川定五郎資料室

●施策－８：文化活動の促進

—担当部：文化振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

市民が文化活動に参加することで生活の質を高めるとともに、活動を通じて、市民交流や市民参画が促進されています。

【行政の使命（ミッション）】

利便性の高い公共ホールを提供し、文化振興事業団をはじめ市内の文化団体と連携し、文化活動を活性化させます。

【重点戦略】

◆文化的施設の整備・運営（文化振興部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－ 2 1 : 市民参加型文化事業の推進

—担当課：文化課—

《概要》

文化団体等と連携して、市民が気軽に参加でき、楽しむことができる文化事業を実施します。また、文化団体等の活動を支援します。


目 的		市民が文化事業に参加し、芸術文化を楽しんでいる。		
成果 指標	指標名	鈴鹿市、文化振興事業 団及び芸術文化協会 事業への参加者数	目標値 (H27年度)	24,000人
	指標設定 根拠・背景	文化事業への参加者数 の増加は、市民が芸術文 化に、より親しんでいる ことにつながる。	現状値 (H22年度)	15,815人
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－ 2 2 : 文化的施設の整備・運営

—担当課：文化課—

《概要》

市民が芸術文化活動の拠点として利用できる文化的施設※8の整備・充実を図ります。

目 的		文化的施設が多くの市民に利用され、市民の地域文化に参加できる機会が増えている。		
成果 指標	指標名	文化的施設の年間利用者数	目標値 (H27年度)	260,000人
	指標設定 根拠・背景	文化的施設を多くの方が利用することは、地域文化に参画できる機会が増えて、活性化につながっている。	現状値 (H22年度)	228,658人
資源投入 の方向性			拡大します	

※8「文化的施設」・・・市民会館、文化会館、江島カルチャーセンター

第2章 環境と共生するまちづくり

§ 政策－3

環境への負荷の少ない循環型社会を進めます

● 施策－9：ごみ減量活動の推進

—担当部：環境部，土木部，都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

行政が市民等との協働により，ごみの減量化，資源化に向けた取組がなされています。

【行政の使命（ミッション）】

ごみの発生抑制，再生利用等の啓発により，更なるごみの減量化・資源化を推進するとともに，循環型社会に向けた基盤整備を図ります。

【重点戦略】

- ◆ごみ減量及び資源化の推進（環境部）
- ◆清掃センターの施設保全（環境部）
- ◆不燃物リサイクルセンターの整備・運営（環境部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－２３：リサイクル施策の推進と資源化の促進

—担当課：廃棄物対策課，土木総務課，市街地整備課，建築指導課—

《概要》

ごみ分別収集等のリサイクル活動を推進し，資源回収を促進します。


目 的		市民，事業者及び行政が，分別収集等の各種リサイクル施策を推進し資源化を行っている。		
成果 指標	指標名	ごみ分別収集等の資源化率	目標値 (H27年度)	32.5%
	指標設定 根拠・背景	資源化率が向上することは，市民のリサイクル意識が浸透し，活動が活発になっていることを示している。		現状値 (H22年度) 26.5%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－24：廃棄物の適正処理による健全な環境の確保

—担当課：廃棄物対策課，開発整備課，清掃センター，クリーンセンター—

《概要》

不法投棄ごみの調査及び撤去を速やかに実施するとともに，ボランティア清掃への協力を継続的に行い，収集された廃棄物を適正に処理できるよう施設の管理運営を行います。


目的		廃棄物が適正に処理され，不法投棄が少なくなり，清潔なまちになっている。		
成果 指標	指標名	不法投棄の苦情件数	目標値 (H27年度)	130件
	指標設定 根拠・背景	不法投棄の苦情件数が減少することは，不法投棄が少なくなり，清潔なまちになっていることを示している。	現状値 (H22年度)	150件
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－25：循環型社会に向けた基盤整備

—担当課：開発整備課—

《概要》

ごみ処理施設の運営モニタリング^{※9}を行います。また、周辺の環境整備を進めます。

目的		PFI事業によって設置した容器包装プラスチックごみ処理施設、不燃・粗大ごみ処理施設（環境学習・啓発の場を含む）が適正かつ安定的に運営され、循環型社会の形成に向けた基盤整備が進んでいる。		
成果指標	指標名	容器包装リサイクル法対象（その他のプラスチックごみ）の資源化率	目標値 (H27年度)	90%
	指標設定根拠・背景	不燃物リサイクルセンターの整備によって、容器包装リサイクル法対象（その他のプラスチックごみ）の資源化率が向上することは、循環型社会が形成されていくことにつながる。	現状値 (H22年度)	67.56%
資源投入の方向性			拡大します	

※9「運営モニタリング」・・・PFI事業者の財務状況や維持管理・運営業務の安定性・継続性が確保されているかなどの観点から行う一連の確認作業

●施策－１０：地球温暖化防止活動の推進

—担当部：環境部，都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

市民や事業者等の協働や参画により，地球温暖化防止に向けた積極的な取組がなされています。

【行政の使命（ミッション）】

新エネルギーの導入促進や，地球温暖化防止の啓発活動を実施することにより，地球温暖化防止に対する意識の向上を図ります。

【重点戦略】

◆地球温暖化対策の推進（環境部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－２６：新エネルギーの導入促進

—担当課：環境政策課—

《概要》

環境にやさしい新エネルギー設備やクリーンエネルギー自動車の導入促進に取り組みます。


目的		新エネルギー設備やクリーンエネルギー自動車の普及促進により、地球温暖化の要因である温室効果ガスの排出が抑制されている。		
成果指標	指標名	住宅用太陽光発電システム設置件数	目標値 (H27年度)	250件
	指標設定 根拠・背景	家庭用新エネルギー設備が普及することは、温室効果ガスの排出が抑制されていることを示している。	現状値 (H22年度)	246件
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－２７：地球温暖化対策実行計画の推進

—担当課：環境政策課，建築指導課—

《概要》

環境マネジメントシステムの運用により，温室効果ガスの排出抑制の活動に取り組み，地球温暖化対策を推進します。


目的		自主的かつ継続的に環境負荷の低減に努めることで，地球温暖化防止対策や施策が推進されている。		
成果指標	指標名	鈴鹿市環境マネジメントシステム（Suzuka-EMS）の運用による不適合発生件数に対する是正処置完了件数割合	目標値（H27年度）	100%
	指標設定根拠・背景	不適合事項に対する是正処置が行われるということは，Suzuka-EMSが適正に運用され，地球温暖化対策が推進されている。	現状値（H22年度）	100%
資源投入の方向性		 拡大します		

◇ 単位施策－ 28：地球温暖化防止啓発活動の推進

—担当課：環境政策課—

《概要》

各種団体・企業と連携し、地球温暖化防止に係る啓発活動を推進します。

目的		地球温暖化防止の啓発により、市民が温室効果ガスの排出抑制について理解し、実践している。		
成果 指標	指標名	環境出前講座・イベント参加者数	目標値 (H27年度)	2,000人
	指標設定 根拠・背景	環境出前講座やイベントへの参加者が増えることは、地球温暖化防止の意識が高まり、温室効果ガス削減の取組が実践されている。	現状値 (H22年度)	1,850人
資源投入 の方向性			拡大します	

§ 政策－４

自然環境を保全するとともに、快適な生活環境を維持します

●施策－１１：緑豊かな自然と共生したまちづくり

—担当部：環境部，土木部，都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

市民がまちの緑をはじめとした多様な自然に親しみ、快適で豊かな生活を実感しています。

【行政の使命（ミッション）】

自然環境を保全する意識の向上を図るとともに、緑化施策を推進します。

【重点戦略】

◆緑の保全と緑化施策の推進（都市整備部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－２９：自然環境の保全**

—担当課：環境政策課—

《概要》

生物多様性の学習をはじめとする自然環境を保全する啓発事業を推進します。


目的		自然との共生についての市民の意識が向上している。		
成果 指標	指標名	自然環境学習・イベント参加者数	目標値 (H27年度)	1,000人
	指標設定 根拠・背景	自然環境の保全についての学習やイベントへの参加が増えることは、市民の自然との共生についての意識が高まっていることを表している。	現状値 (H22年度)	432人
資源投入 の方向性		 現状を維持します		

◇ 単位施策－30：緑化施策の推進

—担当課：市街地整備課，道路保全課—

《概要》

緑の拠点となる公園緑地等の整備や市民との協働による緑の空間づくりにより，緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進します。

目 的		自然環境と共生するまちづくりが進んでいる。		
成果 指標	指標名	緑に対する満足度	目標値 (H27年度)	72%
	指標設定 根拠・背景	緑に対する満足度が増加することは，市民との協働により緑化政策を推進され，環境と共生するまちづくりが進んでいることを示している。	現状値 (H22年度)	52.9%
資源投入 の方向性			拡大します	

●施策－１２：生活排水対策の推進

—担当部：環境部，産業振興部，都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

生活排水対策事業の推進により，公共用水域の水質が良好に保全されています。

【行政の使命（ミッション）】

公共用水域の水質改善を図るため，公共下水道や農業集落排水の整備を推進するとともに合併処理浄化槽の設置促進を図ります。

【重点戦略】

◆公共下水道（汚水）の整備促進（都市整備部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－31：農業集落排水の整備

—担当課：集落排水課—

《概要》

農業集落排水事業※10による農村地域を対象とした排水・汚水処理の施設を整備します。

目的		農業集落排水事業により，公共用水域※11の水質が良好に保全されている。		
成果指標	指標名	農業集落排水整備率	目標値 (H27年度)	93.08%
	指標設定 根拠・背景	農業集落排水整備率が 増加することは，公共用水域の水質がより良好な状態に改善されることにつながる。		現状値 (H22年度) 82.71%
資源投入 の方向性		 現状を維持します		

※10「農業集落排水事業」・・・台所，浴室，洗面所等家庭から排出される生活雑排水とし尿を浄化センターできれいな水にして放流することによって，農業集落の自然環境の保全と生活環境の整備を図る事業


※11「公共用水域」・・・水質汚濁防止法により定められる，河川，湖沼，港湾，沿岸海域その他公共の用に供される水域及びこれに接続する公共溝渠，かんがい水路その他公共の用に供される水路など

◇ 単位施策－ 3 2 : 合併処理浄化槽の設置促進

—担当課：環境政策課—

《概要》

合併処理浄化槽の設置に対する支援を行います。


目 的		合併処理浄化槽の設置により家庭から排出される水が浄化され、公共用水域の水質が良好に保全されている。		
成果 指標	指標名	合併処理浄化槽設置 費補助金交付件数	目標値 (H27年度)	380件
	指標設定 根拠・背景	合併処理浄化槽設置件数が増加することは、公共用水域の水質がより良好な状態に改善されることにつながる。		現状値 (H22年度) 363件
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－33：公共下水道（污水）の整備促進

—担当課：下水管理課，下水建設課—

《概要》

公共下水道による市街地を中心とした排水・汚水処理の施設を整備します。

目 的		公共下水道事業の推進により，公共用水域の水質が良好に保全されている。		
成果 指標	指標名	公共下水道処理人口普及率	目標値 (H27年度)	53.4%
	指標設定 根拠・背景	公共下水道処理人口普及率が増加することは，公共用水域の水質がより良好な状態に改善されることにつながる。	現状値 (H22年度)	45.9%
資源投入 の方向性			拡大します	

●施策－１３：良好な生活環境の確保

—担当部：環境部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

生活環境に対する意識やマナーの向上により、良好な生活環境のもとで快適な暮らしを営んでいます。

【行政の使命（ミッション）】

生活環境の保全，向上を図るため，環境美化等の啓発や，大気，水質等の測定，監視に取り組みます。

【重点戦略】

◆斎苑の施設整備（環境部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－３４：環境美化及び公衆衛生の向上**

—担当課：環境政策課—

《概要》

雑草除去や犬の糞の後始末など環境美化や公衆衛生の向上を図る啓発活動を行います。


目的		環境美化や公衆衛生に関する市民のモラルが向上し、快適な生活環境が確保されている。		
成果指標	指標名	雑草に関する苦情処理件数	目標値 (H27年度)	165件
	指標設定 根拠・背景	苦情処理件数の減少は、市民のモラルが向上している状況を示し、快適な生活環境の確保につながる。	現状値 (H22年度)	174件
資源投入の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－35：生活環境を守る取組

—担当課：環境政策課—

《概要》

生活環境の状況把握や汚染防止等の取組を推進します。

目的		環境基準が達成されることにより、良好な生活環境が守られている。		
成果指標	指標名	年間測定回数に対する大気汚染防止法及び水質汚濁防止法に基づく環境基準の達成率	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	環境基準の達成率が高い水準で維持されることは、良好な生活環境の確保につながる。	現状値 (H22年度)	96%
資源投入の方向性			現状を維持します	

第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり

§ 政策－5

みんなで支えあう福祉のまちをつくりま

● 施策－14：福祉サービスの充実

—担当部：保健福祉部，都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

障がい者や高齢者など誰もが住みよく，生きがいを持ち，安心して暮らせる地域社会となっています。

【行政の使命（ミッション）】

生活上，支援や介助を必要とする人に対し，生活の質を維持・向上させる真に必要な福祉サービスを提供します。

【重点戦略】

- ◆障がい者福祉の推進（保健福祉部）
- ◆高齢者福祉の推進（保健福祉部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－36：障がい者福祉の推進**

—担当課：障害福祉課，建築指導課—

《概要》

障がい者が地域で安心して暮らせるよう，障がい者施策の充実を図ります。


目的		障がい者が，地域において自立した日常生活を送るための支援や介護を受けている。		
成果 指標	指標名	市内におけるケアホーム・グループホームの施設数	目標値 (H27年度)	12施設
	指標設定 根拠・背景	居住系サービス施設の増加により，障がい者が地域において自立した生活を送ることにつながる。	現状値 (H22年度)	9施設
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－37：生活保障の確保

—担当課：生活支援課，保険年金課—

《概要》

生活保護法等に基づく生活保障と自立支援等を行います。


目的		生活保障を必要とする市民が，扶助や支援を受け，自立に向けて暮らしている。		
成果 指標	指標名	ケースワーカーの訪問計画に対する訪問活動の割合	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	訪問活動の割合が高まることにより，被保護世帯の状況がその都度把握でき，必要な支援・相談を行うことができる。	現状値 (H22年度)	99.70%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－38：高齢者福祉の推進

—担当課：長寿社会課—

《概要》

高齢者がいつまでも自立した生活が送れるように在宅福祉サービス等を提供します。


目的		高齢者が住み慣れた地域（中学校区）や家庭でいつまでも元気に過ごしている。		
成果指標	指標名	高齢者福祉サービス事業の延べ利用者数（おむつ支給，ふとん丸洗い，緊急通報システム）	目標値（H27年度）	1,500人
	指標設定根拠・背景	高齢者の在宅福祉サービス事業の利用者が増加することは，在宅生活支援サービスの充実につながる。	現状値（H22年度）	1,210人
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－39：介護保険の推進

—担当課：長寿社会課—

《概要》

介護保険事業の安定した運営が維持できるよう介護予防事業を推進します。


目 的		介護保険事業が安定した運営を将来的にも維持できている。		
成果 指標	指標名	特定高齢者の介護予防事業への参加者数	目標値 (H27年度)	500人
	指標設定 根拠・背景	介護が必要となるおそれのある特定高齢者が、介護予防事業に参加することにより、介護保険の給付額の抑制につながり、さらに、これが介護保険事業の安定した運営と維持につながる。	現状値 (H22年度)	399人
資源投入 の方向性		 現状を維持します		

◇ 単位施策－４０：住生活基本計画の推進

—担当課：住宅課—

《概要》

民間賃貸住宅と連携した住宅確保要配慮者^{※12}の居住安定を図るとともに、市営住宅の効率的な活用・再生を行います。

目 的		住宅確保要配慮者が、公的住宅等に入居し、居住の安定が図られている。		
成果 指標	指標名	市営住宅稼働率	目標値 (H27年度)	98.00%
	指標設定 根拠・背景	市営住宅稼働率が上昇することは、市営住宅が効率的に供給され、住宅確保要配慮者の居住の安定が進んでいることにつながる。		現状値 (H22年度) 90.96%
資源投入 の方向性			現状を維持します	


※12 「住宅確保要配慮者」・・・住生活基本法で定義される低額所得者、被災者、高齢者、子どもを育成する家庭、その他住宅の確保に特に配慮を要する者

◇ 単位施策－４１：地域福祉活動の推進

—担当課：生活支援課—

《概要》

地域福祉を支える関係団体等の活動を支援し、市民に福祉に関心を持つ機会を提供します。

目 的		地域住民が、互いに支え合う地域づくりに取り組んでいる。		
成果 指標	指標名	民生委員児童委員が行った相談・支援日数	目標値 (H27年度)	55,400日
	指標設定 根拠・背景	住民の一番身近なところで相談・支援を行っている民生委員児童委員の活動が活発になることは、地域福祉の推進につながる。	現状値 (H22年度)	54,382日
資源投入 の方向性			現状を維持します	

●施策－１５：労働環境の充実

—担当部：産業振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

年齢、性別や障がい等の有無にかかわらず、個性や特性を尊重し能力を引き出すことにより、働く意欲のある人が就労しています。

また、労働者の生活が安定した社会になっています。

【行政の使命（ミッション）】

関係機関と連携して、市民の就労を支援する基盤づくりを進めます。

また、勤労者の福利厚生等の支援事業に取り組みます。

【重点戦略】

◆なし


【具体的な取組】

◇ **単位施策－４２：働く場の確保と就労支援**

—担当課：産業政策課—

《概要》

ハローワーク・商工会議所等と連携して、働く意欲のある人の就労を支援するとともに、労働者の就労環境の整備・充実を図ります。


目的		働く意欲のある人が就労している。		
成果 指標	指標名	ハローワーク 鈴鹿管 内の就職率	目標値 (H27年度)	30%
	指標設定 根拠・背景	就職率の増加は、働く意欲のある人がより多く就職したことを示している。	現状値 (H22年度)	26.8%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－４３：勤労者福祉の促進

—担当課：産業政策課—

《概要》

勤労者団体等の福利厚生等の事業を支援します。

目的		勤労者の生活が安定し、ゆとりのある暮らしをしている。		
成果 指標	指標名	鈴鹿勤労者連絡協議会が開催する文化体育事業等への参加者数	目標値 (H27年度)	3,300人
	指標設定 根拠・背景	文化体育事業等への参加者の増加は、勤労者がゆとりのある暮らしを送ることにつながる。	現状値 (H22年度)	3,106人
資源投入 の方向性			現状を維持します	

§ 政策－ 6

い つ も 健 康 で 暮 ら せ る ま ち に し ま す

● 施策－ 16 : 健康づくりの推進

— 担当部 : 保健福祉部 —

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

子どもから高齢者まで、誰もが、自ら健康づくりに努めるとともにすこやかにずっと笑顔でかがやいて生活できる地域社会になっています。

【行政の使命（ミッション）】

健康で活力ある少子高齢社会に向け、生活習慣を改善し、健康増進、発病予防を支援できる環境をつくります。

【重点戦略】

◆ 健康診査の充実（保健福祉部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－４４：健康づくりの啓発の推進**

—担当課：健康づくり課—

《概要》

健康づくりに関する知識が普及するよう啓発活動を推進し、健康教育、相談、指導事業の充実を図ります。


目 的		多様な機会を通して市民の健康への関心が高まり、健康づくり活動に取り組んでいる。		
成果 指標	指標名	健康教育、相談、指導を受けた人数	目標値 (H27年度)	38,200人
	指標設定 根拠・背景	健康教育等の事業の参加者が増加することで、より多くの市民が健康づくりに取り組み、健康への意識が高まる。	現状値 (H22年度)	34,759人
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－４５：健康診査の推進

—担当課：健康づくり課，保険年金課—

《概要》

健康診査，各種検診，及び予防接種事業を充実し，疾病の早期発見・予防を行います。

目的		市民が，適切に，健康診査，検診，予防接種を受けることにより，自ら健康づくりに取り組んでいる。		
成果指標	指標名	健康診査，検診，予防接種の受診者数	目標値 (H27年度)	159,600人
	指標設定 根拠・背景	健康診査等の受診者数が増加することにより，疾病の早期発見・予防の効果が高められる。	現状値 (H22年度)	136,681人
資源投入の方向性			拡大します	

●施策－１７：医療体制・制度の充実

—担当部：保健福祉部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

子どもから高齢者まで、誰もが、いつでも、安心して医療を受けることができる地域社会になっています。

【行政の使命（ミッション）】

国民健康保険を適正に運営するとともに医療費の助成を行い、負担の軽減を図ります。また、救急医療施設の適正利用を促進し、救急医療体制の維持・充実を図ります。

【重点戦略】

- ◆医療費助成による生活の安定（保健福祉部）
- ◆医療体制の充実（保健福祉部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－４６：国民健康保険の適正な執行

—担当課：保険年金課—

《概要》

国民健康保険制度加入者へ適切な医療給付と賦課を行います。


目 的		加入者の負担と給付が適正な状態に保たれ、国民健康保険制度が安定的に運営されている。		
成果 指標	指標名	国民健康保険事業の 収支比率〔歳入総額 （繰越金を除く）/歳 出総額×100〕	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	収支比率の向上は、国民健康保険財政の健全化を示し、国民健康保険制度の安定的な運営につながる。	現状値 (H22年度)	102%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－４７：医療費助成による生活の安定

—担当課：保険年金課—

《概要》

市民が安心して医療を受けることができるよう、医療費の助成を行います。障がい者や子ども等の医療費の自己負担分を助成し、保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図ります。


目的		医療費の助成対象者が、経済的な負担のために受診が抑制されないようになっている。		
成果指標	指標名	助成対象者数〔障がい者・65歳以上障がい者・一人親家庭等・子ども医療費助成制度対象者の計〕	目標値 (H27年度)	33,500人
	指標設定 根拠・背景	助成対象者数の増加は、経済的な負担のために受診が抑制されないような状況がつけられていることを表す。	現状値 (H22年度)	21,373人
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－４８：医療体制の充実

—担当課：健康づくり課—

《概要》

一次及び二次救急医療^{※13}の連携の強化と、体制の維持、充実を図ります。

目的		市民が急な病気やけがのとき、いつも安心して医療機関で診察を受けることができる。		
成果指標	指標名	応急診療所の受診者数	目標値 (H27年度)	9,776人
	指標設定 根拠・背景	救急医療の適正な利用方法を広報することにより、休日、夜間に受診される緊急性のない軽症患者を抑制し、救急医療体制の維持が図られている。		現状値 (H22年度) 9,776人
資源投入の方向性			拡大します	

※13 「一次救急医療」・・・入院治療の必要がない軽症の病気の場合の医療
「二次救急医療」・・・一次救急医療機関からの紹介、入院治療を必要とする重症患者、または救急車で搬送される場合の医療

§ 政策－ 7

一人ひとりの人権が尊重され、誰もが参画できる社会の実現をめざします

●施策－ 18：平等で平和な社会の実現

—担当部：生活安全部，教育委員会事務局—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

お互いの人権を尊重し，平等で平和な社会を築くことを願い，市民一人ひとりが積極的に行動している地域社会になっています。

【行政の使命（ミッション）】

平等で平和な社会の実現に向けて，市民や各種団体などの協力を得ながら，効果的な学習機会の提供を図ります。

【重点戦略】

◆なし


【具体的な取組】

◇ 単位施策－４９：子どもの人権の保障

—担当課：人権教育課—

《概要》

子どもたちが、ともに生きる力を付けるための体験的活動を推進します。

目的		子どもが、自分らしさを表現する力と、仲間とつながる力を付けている。		
成果 指標	指標名	子どもの居場所づくりへの子どもの参加者数	目標値 (H27年度)	2,200人以上
	指標設定 根拠・背景	「であいひろば※14」の年間参加者数が増加することは、子どもたちに仲間とつながる力が、より身に付いていることを表す。	現状値 (H22年度)	1,878人
資源投入 の方向性			現状を維持します	


※14 「であいひろば」・・・鈴鹿市人権教育センターにおいて、すべての児童生徒が、ともに様々な活動を通して、障がいや国の文化・習慣等について理解し、お互いの違いを認め合い、お互いの人権を尊重して、仲間としてつながっていく資質を培う事業

◇ 単位施策－５０：人権・平和意識の高揚

—担当課：人権政策課—

《概要》

人権・平和問題についての理解が深まるよう、人権が尊重される社会づくりに向けた啓発事業の充実を図ります。


目 的		市民が啓発イベントを通じ、平和の尊さや人権を尊重する意識を高めている。		
成果 指標	指標名	啓発イベントへの参加者数	目標値 (H27年度)	2,900人
	指標設定 根拠・背景	啓発イベントに参加し、人権問題について理解する人が増えることで、人権が尊重される社会づくりにつながる。	現状値 (H22年度)	2,160人
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－５１：人権啓発・福祉・交流の総合的な取組の推進

—担当課：人権政策課—

《概要》

隣保館，児童センターで幅広い年代の人たちが参加できる交流事業や児童の健全育成事業を総合的に実施します。

目的		幅広い年代の人たちの交流が行われている。		
成果 指標	指標名	隣保館・児童センター事業への参加者数	目標値 (H27年度)	59,000人
	指標設定 根拠・背景	隣保館・児童センター事業への参加者数が増加することは，住民の交流や児童の健全育成が推進されていることを表している。	現状値 (H22年度)	58,021人
資源投入 の方向性			現状を維持します	

●施策－１９：共生社会の実現

—担当部：生活安全部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

誰もが互いの文化や価値観を認め合い、地域社会をともに担う市民として暮らしています。

【行政の使命（ミッション）】

誰もが互いの文化的ちがいを認め合い、安心して暮らせる社会づくりを進めるために、多文化共生の啓発や異文化理解の推進を図ります。

【重点戦略】

◆日本人と外国人の共生の推進（生活安全部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－５２：外国人市民との地域共生と異文化理解の推進

—担当課：市民対話課—

《概要》

関係団体やボランティア等と連携し、多文化共生社会の推進を図ります。

目的		互いの文化や習慣のちがいを尊重し合い、地域で共生している。		
成果指標	指標名	財団法人鈴鹿国際交流協会に登録しているボランティア人数	目標値 (H27年度)	240人
	指標設定 根拠・背景	登録者数から、市民の共生社会に対する意識を測ることができ、その増加は、地域共生が進むことにつながる。	現状値 (H22年度)	226人
資源投入の方向性			拡大します	

●施策－２０：男女共同参画社会の実現

—担当部：生活安全部，保健福祉部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

職場，家庭，地域，学校などあらゆる場で，男女が対等なパートナーとしてお互いの生き方を尊重し合い，責任を分かち合いながら個性と能力を発揮できるような社会になっています。

【行政の使命（ミッション）】

政策方針決定過程への女性の参画を進めるとともに，性別による固定的な役割分担意識やそれに基づくDV^{※15}等の人権侵害行為をなくすための取組を行います。

また，市民がいきいきと暮らせるよう仕事と家庭生活，地域生活の両立が可能な仕組みづくりを進めます。

【重点戦略】

◆男女共同参画社会実現を担う人材育成の推進（生活安全部）

※15 「DV」・・・夫婦や恋人等，親密な関係にある男女間の身体的・精神的な暴力


【具体的な取組】

◇ 単位施策－５３：男女共同参画の総合的な取組の推進

—担当課：男女共同参画課，子育て支援課—

《概要》

男女共同参画基本計画を推進します。また，性別による固定的な役割分担意識に基づく，DV等の人権侵害行為への対策を行います。

目的		鈴鹿市が実施するあらゆる分野における施策に男女共同参画の視点が導入，推進され，総合的な取組が行われている。		
成果指標	指標名	審議会等への女性委員登用率	目標値 (H27年度)	40%
	指標設定 根拠・背景	各課が実施する業務の政策方針を決定する審議会等への女性委員登用率の上昇は，それぞれの分野において男女共同参画推進意識が高まり，推進されていることを示す。		現状値 (H22年度) 26%
資源投入の方向性			拡大します	

第4章 いきいきとした地域と活力を 生み出すまちづくり

§ 政策－8

人・物・情報が活発に行き交うまちをつくります

- 施策－21：人・物がスムーズに行き交う交通網の充実
—担当部：産業振興部，土木部，都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

都市の成長基盤を支える交通ネットワークが形成され，人・物がスムーズに行き交っています。

【行政の使命（ミッション）】

関係機関と連携して効果的・効率的な道路網の整備促進を図ります。また，公共交通網の維持，充実に向けて，利用者，事業者，行政等，関係機関が連携した取組を推進します。

【重点戦略】

- ◆ 公共交通の利便性向上（産業振興部）
- ◆ 幹線道路の整備推進（土木部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－５４：幹線道路の整備推進

—担当課：道路整備課, 道路用地課, 市街地整備課—

《概要》

道路整備プログラムに基づき、優先度の高い道路から整備を進めます。


目的		幹線道路が整備され、地域の交通利便性が向上している。		
成果 指標	指標名	幹線道路（都市計画道路）整備率	目標値 （H27年度）	56.3%
	指標設定 根拠・背景	整備率の増加は、幹線道路（都市計画道路）の整備が進んでいる状況を示している。	現状値 （H22年度）	51.0%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－５５：公共交通の利便性向上

—担当課：商業観光課—

《概要》

交通の不便な地域における生活交通の確保を図ります。また市域全体の公共交通網の維持・充実に向けた方向性やその方策について調査・検討します。


目的		自ら移動手段を持たない市民が、公共交通機関を使って円滑に移動できるようになっている。		
成果指標	指標名	コミュニティバスの年間利用者総数	目標値 (H27年度)	36万人
	指標設定 根拠・背景	利用者数の増加は、交通の不便な地域の交通手段が効率的に確保されていることを示し、自ら移動手段を持たない市民に対する公共交通の利便性の向上につながる。		現状値 (H22年度) 32万人
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－５６：国・県の道路事業促進

—担当課：土木総務課，道路用地課—

《概要》

国・県が行う道路整備事業が促進されるように働きかけます。

目的		主要幹線道路の整備が促進されている。		
成果指標	指標名	国道23号中勢バイパス，国道1号北勢バイパス，新名神高速道路，鈴鹿中央線（神戸長沢線）の事業整備率※16	目標値（H27年度）	55.3%
	指標設定根拠・背景	事業整備率が上がることは，主要幹線道路の整備が促進されていることを示している。	現状値（H22年度）	21.7%
資源投入の方向性			現状を維持します	

※16「事業整備率」・・・道路が完成し，供用できた延長の割合（供用延長÷都市計画延長）

●施策－２２：経済活動が活発化する市街地の創造

—担当部：産業振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

快適で暮らしやすい街並みが創造され、中心市街地^{※17}における経済活動が活発になり、にぎわいのあるまちになっています。

【行政の使命（ミッション）】

地域の特性を生かし、地域が主体となって進めていく中心市街地における商業活性化への取組を支援します。

【重点戦略】

◆なし

※17 「中心市街地」・・・白子駅を中心とした230haの区域


【具体的な取組】

◇ 単位施策－５７：中心市街地と商業の活性化

—担当課：商業観光課—

《概要》

商業団体や商工会議所と連携により、活性化のための協議会を通じ、イベントや空き店舗対策事業を実施するほか、商店街の環境整備を図っていきます。

目 的		中心市街地がにぎわいを取り戻し、商業活動が活性化している。		
成果 指標	指標名	白子駅西商店街の空き店舗数	目標値 (H27年度)	0店
	指標設定 根拠・背景	中心市街地活性化基本計画エリア内の白子駅西商店街の空き店舗を無くすことは、中心市街地がにぎわいを取り戻し、商業活動の活性化につながる。		現状値 (H22年度) 1店
資源投入 の方向性			現状を維持します	

●施策－２３：情報通信インフラの活用と次世代への対応

—担当部：総務部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

いつでも、どこでも、誰もが情報を取得し共有することができる
情報格差のないまちになっています。

【行政の使命（ミッション）】

市民みんなが情報通信ネットワークを容易に利用できる情報基盤
の整備を行います。

【重点戦略】

◆なし


【具体的な取組】

◇ 単位施策－５８：ユビキタスネット社会※18への対応

—担当課：市政情報課—

《概要》

情報通信ネットワークを、いつでも、どこでも利用できるよう地域W i MAX※19の普及を進めます。

目的		いつでも、どこでも、誰もが情報通信ネットワークを利用できるようになっている。		
成果指標	指標名	地域W i MAXの加入世帯割合	目標値 (H27年度)	10.0%
	指標設定 根拠・背景	いつでも、どこでも利用できる情報通信基盤の地域W i MAXの加入世帯の増加は、情報格差の解消につながる。	現状値 (H22年度)	0.0%
資源投入の方向性			現状を維持します	

※18「ユビキタスネット社会」・・・情報通信技術（ICT）の発展によって、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」が、情報通信ネットワークにつながることで、様々なサービスが提供され、人々の生活がより豊かになる社会のこと

※19「地域W i MAX」・・・市区町村単位で割り当てられる2.5GHz帯の周波数の電波を利用して、各地域の通信事業者が行う無線LANサービスのこと

§ 政策－ 9

地域の個性と暮らしの利便性を高めます

●施策－ 24：生活の快適性・利便性の向上

—担当部：都市整備部，生活安全部，土木部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

快適で便利な都市環境の下で，市民の多くが住み続けたいという思いをもって暮らしています。

【行政の使命（ミッション）】

快適な都市環境の骨格となる道路，良質な宅地，憩いの空間等，まちを形づくる要素を適正に整えます。

【重点戦略】

◆良好な住環境の創造・保全（都市整備部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－５９：良好な住環境の創造・保全

—担当課：市街地整備課，建築指導課—

《概要》

土地区画整理事業を進め，道路・公園・宅地を総合的に整備します。また，中高層建築物等を建築する場合，住環境を損なうことのないよう必要な措置を講じます。


目 的		都市環境が整備され，快適で利便性の高い生活の場となっている。		
成果 指標	指標名	区画整理事業整備率	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	区画整理事業の整備率が増加することは，事業地内の住環境がより多く整備されている状態を示し，都市環境が整備され，快適で利便性の高い生活の場となることにつながる。		現状値 (H22年度) 26.5%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－60：住居表示の推進

—担当課：地域課—

《概要》

地域（自治会）からの要望のある区域，区画整理実施区域で住居表示を実施します。


目 的		地番表示での混乱が解消され，住所が分かりやすくなっている。		
成果 指標	指標名	市街化区域内における住居表示実施率	目標値 (H27年度)	60%
	指標設定 根拠・背景	実施率の上昇が，地番表示の混乱解消につながり，市民の住所がわかりやすくなる。	現状値 (H22年度)	58.4%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－61：地籍調査の推進

—担当課：土木総務課—

《概要》

現地の正確な実態を正しく反映していない登記簿や公図を使用している地域の地籍の調査と調査成果の管理・情報提供業務を行います。

目 的		市民が自らの土地を正確に把握し，土地の保全，利用，取引等を適正かつ円滑に行っている。		
成果 指標	指標名	地籍調査の進捗率	目標値 (H27年度)	1.43%
	指標設定 根拠・背景	進捗率が増加することは，より多くの土地について境界や所有者等が明確になっていることを示し，土地の適正な管理につながる。		現状値 (H22年度) 0.78%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

●施策－２５：景観に配慮しつつ個性を活かした計画的なまちづくり

—担当部：都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

職場・住居等の環境が調和し、地域の個性を活かした土地利用が行われています。さらに市民とともに景観に配慮したまちづくりが進み、市民がゆとりと豊かさを実施しながら生活をしています。

【行政の使命（ミッション）】

景観に配慮した接続的・計画的な土地利用を図り、調和のとれたまちづくりを推進します。また、地域の特性を発揮できる景観づくりのための計画策定等を市民とともに進めます。

【重点戦略】

- ◆美しい街並みや景観の創造と保全（都市整備部）
- ◆快適で暮らしやすい都市環境の創造（都市整備部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－６２：美しい街並みや景観の創造と保全

—担当課：都市計画課—

《概要》

景観づくりに関するルールにより、規制・誘導を行い、市民とともに景観に配慮したまちづくりを進めます。


目的		景観に配慮したまちづくりが進み、良好な景観が創造・保全されている。		
成果指標	指標名	景観に影響を与える届出対象行為のうち、指導・誘導した割合	目標値 (H27年度)	45%
	指標設定根拠・背景	指導・誘導した割合が減少することは、鈴鹿市景観計画が浸透していることを示し、良好な景観が保全・創造されることにつながる。	現状値 (H22年度)	60%
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－63：計画的な土地利用の誘導

—担当課：都市計画課—

《概要》

将来迎える人口減少・高齢化社会に対応できるよう持続可能な土地利用を示し、計画的なまちづくりの誘導を図ります。

目 的		市民・事業者・行政が地域の特色を活かした土地の有効利用をしている。		
成果 指標	指標名	市街化区域内の宅地化率	目標値 (H27年度)	59%
	指標設定 根拠・背景	宅地化率が上がることは、用途に応じ、土地が有効に利用されていることを示している。	現状値 (H22年度)	58%
資源投入 の方向性			拡大します	

§ 政策－１０

地域経済を支える豊かな産業を活かします

●施策－２６：蓄積された知識と技術の活用による競争力の向上 —担当部：産業振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

中小企業の自立・発展により、経営が拡大しています。また、食の安全への関心が高まり、多くの市民が地元農水産物を積極的に消費しています。

【行政の使命（ミッション）】

中小企業に対するものづくり支援活動を行います。また、地産地消の推進や安全な農水産物への理解促進を図ります。

【重点戦略】

- ◆中小企業の高度化・付加価値化の推進（産業振興部）
- ◆地元農水産物の消費拡大の推進（産業振興部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－64：地元農水産物の消費拡大の推進

—担当課：農林水産課—

《概要》

直販所設置推進や農業体験イベント等の生産者と消費者との交流を通じて、地元農水産物の安全性の理解促進を図り、地産地消を推進します。


目 的		地元農水産物が、地元で消費されている。		
成果 指標	指標名	農協及び漁協の農水産物直売施設の販売額	目標値 (H27年度)	511,985 千円
	指標設定 根拠・背景	農協及び漁協の農水産物直売施設の販売額の増加は、地産地消が進んでいることを示している。	現状値 (H22年度)	465,441 千円
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－65：中小企業の高度化・高付加価値化の推進

—担当課：産業政策課—

《概要》

ものづくり産業支援センターのアドバイザー※20派遣と商工会議所等関係機関の連携等により，中小製造業の技術の高度化と高付加価値化の推進を通し，経営基盤の強化を図ります。

目的		中小製造業が経営を改善し，生産性が向上している。		
成果指標	指標名	支援を受けた企業の件数	目標値 (H27年度)	100件
	指標設定 根拠・背景	支援件数が増加することは，多くの企業が課題解決に向けた取組を実施している状態であり，経営改善が進み，生産性が向上することにつながる。	現状値 (H22年度)	93件
資源投入の方向性			拡大します	

※20 「アドバイザー」・・・企業でノウハウを習得した定年退職者

●施策－２７：持続的で安定した経営基盤づくり

—担当部：産業振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

次代を担う後継者が育ち、発展的な経営が行われ、生産性が向上しています。また、将来にわたって持続的で安定した成長が可能となる経営が行われています。

【行政の使命（ミッション）】

担い手や後継者の確保・育成を図るとともに、効率的で健全な生産・経営を可能とする基盤の整備を行います。また、多面的機能が発揮できる生産環境の保全を図ります。

【重点戦略】

◆農水産業の担い手支援と生産基盤の整備（産業振興部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－６６：中小企業の経営健全化促進

—担当課：商業観光課—

《概要》

商工会議所が行う中小企業指導育成事業を支援する。また、利子等に対する補給制度や金融機関に運用資金の原資を預託し、資金調達の円滑化を図るなど、中小企業者の経営安定化に向けた支援を行います。


目 的		中小企業が、健全で安定した経営を行っている。		
成果 指標	指標名	鈴鹿商工会議所に会員登録し、経営指導を受けたり相談を行ったりしている中小企業者数	目標値 (H27年度)	3,700 事業所
	指標設定 根拠・背景	経営指導を受けたり、相談を行ったりしている中小企業者数の維持は、中小企業の経営健全化につながる。	現状値 (H22年度)	3,708 事業所
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－67：商店街の活性化促進

—担当課：商業観光課—

《概要》

商店街等が活性化を図るために自主的に取り組む事業に対して支援するほか、街路灯や駐車場等の共同施設の整備・維持に対する支援を行います。


目的		商店街等が、にぎわいを取り戻し、活性化している。		
成果 指標	指標名	鈴鹿市が支援する商店街等の活性化促進事業の実施件数	目標値 (H27年度)	9件
	指標設定 根拠・背景	活性化促進事業の実施件数の増加は、意欲ある商店街等が自ら積極的に活動を展開し、活性化していることを表す。	現状値 (H22年度)	6件
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－68：地域農業と経営基盤づくり

—担当課：農業委員会—

《概要》

農地法等に基づき、農地の無秩序な開発の監視・抑止を図り、農地の公共的有益性を保護するとともに、優良農地^{※21}化の推進により耕作放棄地^{※22}の解消を図ります。

目的		農業者が農地の有効利用を図り、安定した農業経営を営んでいる。		
成果指標	指標名	耕作放棄地の面積	目標値 (H27年度)	390ha
	指標設定 根拠・背景	耕作放棄地の減少は、農地が有効に利用されている状況を示し、安定した農業経営を営むことにつながる。	現状値 (H22年度)	490ha
資源投入の方向性			拡大します	

※21 「優良農地」・・・基盤整備が実施されるなど、集団的に活用できる、良質な営農条件を備えた農地


※22 「耕作放棄地」・・・1年以上耕作されていない農地

◇ 単位施策－69：農業及び漁業関連施設の充実と担い手の育成

—担当課：農林水産課—

《概要》

大規模共同利用施設や漁港施設等の整備拡充を図るとともに、認定農業者^{※23}や集落営農組織^{※24}等の担い手を育成します。

目 的		担い手が育成され、農業や漁業の生産効率が高まっている。		
成果 指標	指標名	認定農業者数	目標値 (H27年度)	270人
	指標設定 根拠・背景	認定農業者の増加は、担い手が育成されていることを示し、農業の生産効率の向上につながる。		現状値 (H22年度) 245人
資源投入 の方向性			拡大します	

※23 「認定農業者」・・・規模の拡大や生産管理の合理化等について作成した「農業経営改善計画」を鈴鹿市が認定した農業者


※24 「集落営農組織」・・・単一または数集落単位に、大半の農家の参加と出資、農地の利用調整等への合意に基づいて活動する集团的営農の組織

◇ 単位施策－70：農林水産業経営支援の促進

—担当課：農林水産課—

《概要》

農林水産業の担い手に、農地の面的集積^{※25}、技術指導、施設整備等のための各種資金調達等に関して、県普及センターや農協等関連機関と連携して経営を支援します。

目的		農林水産業の担い手が、効率的で安定した経営を行っている。		
成果指標	指標名	主要農水産物生産量 (米, 麦, 秋冬はくさい, 鶏卵, 牛乳, 牛肉, 豚肉, コウナゴ, イワシ, アサリ, ノリ)	目標値 (H27年度)	59,700 トン
	指標設定 根拠・背景	農水産物生産量の増加は、農業・漁業者の担い手が効率的で安定した経営を行っていることを示している。	現状値 (H22年度)	59,685 トン
資源投入の方向性			現状を維持します	


※25「面的集積」・・・規模拡大によるコストの低減等、農業の体質強化を図るために、担い手への面的なまとまりのある形で農地の利用集積を行うこと

◇ 単位施策－71：農業生産基盤の整備推進

—担当課：耕地課—

《概要》

地元の要望により、用水路や農道、ため池等の農業生産基盤の整備を行います。


目 的		農業者が効率的な生産が行えるようになっている。		
成果 指標	指標名	鈴鹿市単独事業による、改修の必要な農業用施設の整備率	目標値 (H27年度)	70%
	指標設定 根拠・背景	改修の必要な農業用施設の整備が進むことは、効率的な農業生産につながる。	現状値 (H22年度)	66%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－72：多面的機能が発揮できる生産環境づくり

—担当課：農林水産課—

《概要》

農地の担い手への面的集積や農業振興地域整備計画の適正な運用及び間伐等の森林整備を推進し、不耕作地及び森林荒廃の増加を防ぎ、農地や森林の保全を図ります。

目的		農地や森林が適正に管理・保全され、生産基盤、洪水防止、景観形成等の多面的機能が発揮されている。		
成果指標	指標名	農用地区域 ^{※26} 面積	目標値 (H27年度)	5,303ha
	指標設定 根拠・背景	農用地区域面積の推移は、優良農地の保全状況や多面的機能の発揮状況を表す。	現状値 (H22年度)	5,342ha
資源投入の方向性			現状を維持します	


※26 「農用地区域」・・・集团的に存在する農地や農業生産基盤整備事業等の対象地等の優良な農地で、今後相当長期にわたり農業上の利用を確保すべき土地を、農業振興地域の整備に関する法律に基づき農用地区域として設定する。

◇ 単位施策－73：市内特産品の販路拡大の促進

—担当課：商業観光課—

《概要》

物産振興団体の活動や、物産展等のイベント開催を支援し、販路拡大に向けた取組を推進します。

目 的		市内特産品が広く認知され、消費が拡大している。		
成果 指標	指標名	物産展等における市内特産品の売上高	目標値 (H27年度)	20,000 千円
	指標設定 根拠・背景	売上高の上昇が、特産品の認知度の高まりや販路の拡大を示し、特産品の消費拡大につながる。	現状値 (H22年度)	18,919 千円
資源投入 の方向性			現状を維持します	

§ 政策－ 1 1

新たな活力を生み出す産業を振興します

●施策－ 2 8 : 新ビジネスの創造と産業の振興

—担当部：産業振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

企業の立地が進み、新しい分野の産業が創出、育成され地域の経済力が向上しています。

【行政の使命（ミッション）】

工業用地の確保等、企業を誘致するための基盤づくりを推進します。また、産学官の連携による研究開発や人材育成に取り組むとともに、新分野への進出を図る中小企業を支援します。

【重点戦略】

- ◆新商品の研究開発支援と産業集積の促進（産業振興部）
- ◆中小企業の高度化・付加価値化の推進（産業振興部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－74：新商品の開発の促進**

—担当課：産業政策課—

《概要》

農商工連携による付加価値の付いた商品づくりの取組を支援します。


目的		農業者と商工業者とが連携して新たに付加価値の付いた商品を開発し、販路を拡大している。		
成果指標	指標名	新しく開発された商品の件数	目標値 (H27年度)	3件
	指標設定 根拠・背景	新商品の開発により需要が喚起され、販路の拡大につながる。	現状値 (H22年度)	2件
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－75：進出意欲をもつ企業の立地促進

—担当課：産業政策課—

《概要》

工業振興条例に規定する工場設置奨励金等助成金を基に，進出意欲をもつ企業に対し各種支援を行います。


目的		企業が、各種優遇策を用いて市内に進出している。		
成果 指標	指標名	工業振興条例の適用を受けた企業の件数	目標値 (H27年度)	5件
	指標設定 根拠・背景	条例適用件数が増加することは、企業立地が進んでいる状態を表す。	現状値 (H22年度)	3件
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－76：地場産業の需要開拓の促進

—担当課：産業政策課—

《概要》

新しい利用価値をもった伝統工芸品の商品開発を支援します。


目的		伝統工芸産業が新たな需要を開拓し、販路を拡大している。		
成果 指標	指標名	新しい利用価値をもった商品開発件数	目標値 (H27年度)	4件
	指標設定 根拠・背景	開発件数の増加が、新たな需要の喚起につながり、販路の拡大になる。	現状値 (H22年度)	2件
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－77：新産業の集積の促進

—担当課：産業政策課—

《概要》

燃料電池分野をはじめとする新分野^{※27}の開発に参画する企業を支援します。

目的		市内の中小企業が、燃料電池等新分野の開発により新たな事業を展開し、燃料電池をはじめとする新分野の産業集積が図られている。		
成果指標	指標名	燃料電池関連機器 ^{※28} 等新分野の開発に参画する企業数	目標値 (H27年度)	2社
	指標設定 根拠・背景	参画する企業の増加は、燃料電池等新分野の事業集積が図られていることを示している。	現状値 (H22年度)	1社
資源投入の方向性			拡大します	

※27 「新分野」・・・技術開発を基に新市場の開拓を可能とする分野。具体的には、健康福祉、農業分野へのIT導入、再生エネルギー、微細加工（ナノテク）、製造技術（航空機分野、ユニット化等）、風力・太陽光等エネルギー分野等を指す。


※28 「燃料電池関連機器」・・・燃料電池を構成する部材であり、ポンプ、ブロワ、弁類、センサ、流量計等に代表される。これらの部材の開発は全体のコスト減に寄与する。

◇ 単位施策－78：産学官^{※29}の連携による研究開発と人材育成

—担当課：産業政策課—

《概要》

中小製造業が、大学等高等教育機関と共同で取り組む新技術の開発・研究を支援します。また、産学官の交流事業により情報交換、人材育成を図ります。

目 的		中小製造業の技術力が向上している。		
成果 指標	指標名	産学連携開発支援採 択件数	目標値 (H27年度)	3件
	指標設定 根拠・背景	採択件数の増加が、中小 製造業の開発・研究意欲 を促進している状態を 示し、技術力の向上につ ながる。	現状値 (H22年度)	3件
資源投入 の方向性			拡大します	

※29 「産学官」・・・産業界、高等教育機関、行政機関

●施策－２９：豊かな自然と観光資源の活用

—担当部：産業振興部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

多彩な観光資源が活用され、地域が一体となった観光集客・交流が図られています。また、世界に「鈴鹿＝モータースポーツ都市」としてのブランドイメージが確立されています。

【行政の使命（ミッション）】

モータースポーツ観戦客へのおもてなしを推進し、モータースポーツの振興を図るとともに、モータースポーツと歴史、文化、自然の観光資源を有機的なつながりを持たせ、集客交流を促進します。

【重点戦略】

◆観光まちづくりの推進（産業振興部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－79：観光資源の充実

—担当課：商業観光課—

《概要》

観光振興団体への補助，海水浴場，鈴鹿山溪等観光施設の維持管理を行います。また，関係機関と連携して計画的な観光振興を図ります。


目 的		観光資源が充実し，多くの人が鈴鹿市を訪れ，交流が盛んになっている。		
成果 指標	指標名	観光客入込客数	目標値 (H27年度)	500万人
	指標設定 根拠・背景	観光客入込客数が多いことは，観光地，または観光資源の魅力が高いことを示し，交流が盛んになっていることにつながる。		現状値 (H22年度) 453万人
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－80モータースポーツの振興の促進

—担当課：商業観光課—

《概要》

モータースポーツの普及，理解促進のための事業を支援するほか，周辺自治体や関係機関と連携しながらF1日本グランプリの開催継続，並びにモータースポーツを利活用した観光振興事業を展開します。

目的		市民が鈴鹿市におけるモータースポーツ振興の重要性を認識し，深い理解と関心を持っている。		
成果 指標	指標名	モータースポーツ友の会等が開催するイベントへの参加者数	目標値 (H27年度)	5,000人
	指標設定 根拠・背景	参加者数の増加は，モータースポーツへの関心，理解の高まりを示している。	現状値※30 (H21年度)	4,670人
資源投入 の方向性			拡大します	

※30「現状値」・・・平成22年度は震災のため指標とするイベントが中止となったため

第5章 安全で安心できるまちづくり

§ 政策－１２

災害に強いまちづくりを推進します

●施策－３０：防災対策の推進

—担当部：保健福祉部，消防本部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

大規模地震等の災害時に，被害を最小限に抑制できるよう，市民や行政がそれぞれの行うべき役割を担っています。

【行政の使命（ミッション）】

地域防災計画・水防計画を各被害想定に沿って見直しを進めながら，災害時の防災体制を充実します。また，市民への情報伝達システムの整備や緊急避難所の確保及び防災（海岸部においては津波時の対応）に関する啓発活動等により，市民に対しての防災力強化を図ります。

【重点戦略】

- ◆災害時の対応力の強化（生活安全部）
- ◆地域防災力の整備充実（消防本部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－81：防災体制の充実

—担当課：防災危機管理課，生活支援課，消防課—

《概要》

市民に対する情報伝達システムを確立し，地域防災計画や運営マニュアルの見直しを行い，総合防災訓練などで運用訓練を実施し，防災力の強化を図ります。


目的		鈴鹿市の防災体制が機能し，災害に迅速に対応している。		
成果指標	指標名	鈴鹿市の防災対策事業に対する市民の認識率（市民防災講演会等でのアンケートで，鈴鹿市の防災対策事業（各項目）をどれだけ認識していますかという質問による回答率）	目標値 (H27年度)	80%
	指標設定 根拠・背景	市民が鈴鹿市の防災対策事業を認識することにより，災害時の迅速な対応につながる。	現状値 (H22年度)	59.8%
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－８２：市民の防災力強化

—担当課：防災危機管理課—

《概要》

自主防災隊の訓練や防災研修会を行い、市民の防災意識の向上と強化を図ります。

目的		市民一人ひとりが災害発生時には助け合って、防災活動を行える高い防災意識を持っている。		
成果指標	指標名	自主防災活動に対する市民の認識率（市民防災講演会等でのアンケートで、災害時に自分たちで何（各項目）ができるのかを認識していますかという質問による回答率）	目標値 （H27年度）	90%
	指標設定 根拠・背景	市民が災害発生時に行う防災活動を認識することにより、地域の自主防災力の向上につながる。	現状値 （H22年度）	56.7%
資源投入の方向性			拡大します	

●施策－31：浸水・治水対策の推進

—担当部：土木部，都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

河川や下水道（雨水）等の整備が進み，浸水・洪水被害が軽減されており，市民が災害の不安から解消され，安心して暮らしています。

【行政の使命（ミッション）】

大雨の時の浸水・洪水被害を防止するため，河川の改修や下水道（雨水），排水路等の維持，整備を進め，浸水・洪水被害の解消に努めます。

【重点戦略】

- ◆河川・水路・排水機場の整備と適正な維持管理（土木部）
- ◆都市浸水対策（都市整備部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－８３：河川・排水路の整備推進**

—担当課：河川課—

《概要》

流下能力不足による浸水・洪水被害を防止するため、河川や排水路の改修等を行います。


目的		河川や排水路が整備され、浸水・洪水被害が軽減されている。		
成果指標	指標名	主要3準用河川の整備進捗率	目標値 (H27年度)	79.8%
	指標設定 根拠・背景	3準用河川（金沢川・稻生新川・北長太川）の整備による被害軽減の効果が大きい。	現状値 (H22年度)	63.1%
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－８４：河川等の維持管理

—担当課：河川課—

《概要》

浸水・洪水被害を防止するため、河川や排水路、海岸部の排水機
場・樋門施設の維持管理を行います。


目 的		施設が適切に維持管理され、浸水・洪水被害が軽減されている。		
成果 指標	指標名	河川管理施設の不具合による浸水件数	目標値 (H27年度)	0件
	指標設定 根拠・背景	不具合を無くすことが、 浸水・洪水被害の軽減につながる。	現状値 (H22年度)	0件
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－ 8 5 : 都市浸水対策

—担当課：下水管理課， 下水建設課—

《概要》

大雨による浸水被害の発生地域において， 公共下水道雨水幹線及び雨水ポンプ場の新設・改築を行います。

目 的		浸水被害が低減されている。		
成果 指標	指標名	都市浸水対策達成率	目標値 (H27年度)	31%
	指標設定 根拠・背景	都市浸水対策達成率の増加は，雨水計画区域内の浸水対策が完了したことを示しており，浸水被害の低減につながる。	現状値 (H22年度)	28.8%
資源投入 の方向性			拡大します	

●施策－３２：地震災害対策の推進

—担当部：都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

大規模地震に備えて，建築物が地震に強い状態になっており，市民が安全に生活できる状態になっています。

【行政の使命（ミッション）】

東海・東南海・南海地震等による被害軽減のために，建築物等の耐震化の促進を図ります。また，緊急避難所・避難地の拡充に努め，収容避難所においては，市民が安心して過ごせるよう物資，設備を整備します。

【重点戦略】

◆なし


【具体的な取組】

◇ 単位施策－８６：建築物等の耐震化促進

—担当課：防災危機管理課， 建築指導課—

《概要》

耐震診断・耐震補強工事を促進します。

目 的		建築物等が地震に強い状態になっており，被害が軽減されている。		
成果 指標	指標名	建築物の耐震化率※31	目標値 (H27年度)	94%
	指標設定 根拠・背景	建築物の耐震化率が向上することは，地震発生時の建築物の安全性が確保され，被害が軽減されることにつながる。	現状値 (H22年度)	85.2%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

※31 「建築物の耐震化率」・・・地震防災対策において重要な建築物である住宅・特定建築物・避難施設のうち，昭和56年6月以降に建築された建築物及び昭和56年6月以前に建築された建築物で耐震診断や耐震補強により安全性が確認された建築物の割合


特定建築物：建築物の耐震改修の促進に関する法律第6条に規定する建築物

◇ 単位施策－８７：避難所の整備

—担当課：防災危機管理課—

《概要》

緊急避難所・避難地の拡充，緊急及び収容避難所の耐震化，収容避難所での飲料水やトイレの確保等を行います。

目的		地震発生時等に市民が支障なく避難生活を送っている。		
成果指標	指標名	収容避難所 ^{※32} に指定されている小学校における耐震化及びマンホールトイレ ^{※33} の整備率（マンホールトイレの整備は、下水道排水区域 ^{※34} に限る。）	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	避難所の整備率が向上することは、地震発生時に避難所の機能が確保され、市民が支障なく避難生活を送れることにつながる。	現状値 (H22年度)	86.7%
資源投入の方向性			現状を維持します	

※32「収容避難所」…災害により住居を失った避難者を長期的に収容できる施設

※33「マンホールトイレ」…災害時に井戸水等を活用して、排泄物を下水道本管に直接流す仕組みの仮設トイレ

※34「下水道排水区域」…下水道により下水を排除することができる地域

§ 政策－１３

安 全 な ま ち を め ざ し ま す

●施策－３３：消防力の強化

—担当部：消防本部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

消防体制を整備することにより、水火災を防除し、地震災害の被害を軽減して、市民の生命・身体・財産が保護されています。

【行政の使命（ミッション）】

大規模地震等の災害に即応する消防庁舎を整備し、火災をはじめ、重大事故、特殊災害等に対応できる消防自動車や資機材の更新整備をします。

【重点戦略】

◆消防体制の充実強化（消防本部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－８８：地域消防力の整備充実

—担当課：消防総務課，消防課—

《概要》

消防団車両が整備され，消防団の機能向上と自主防災隊との連携及び大規模災害時に対応する消防団防災支援協力者の育成指導を行います。


目 的		市民防災力の意識が高まっている。		
成果 指標	指標名	消防団が指導した自主防災隊の訓練参加者数	目標値 (H27年度)	2,990人
	指標設定 根拠・背景	地域防災の要である消防団が，自主防災隊の防災訓練を指導し，その訓練参加者数が増加することは，市民防災力の意識の高揚につながる。	現状値 (H22年度)	2,360人
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－８９：消防体制の充実強化

—担当課：消防課，消防総務課，情報指令課—

《概要》

消防庁舎建設，消防車両，消防資機材，水利等を整備し，複雑多様化する各種災害に対応できる消防体制の充実強化を図ります。

目 的		建物火災の被害が，効率的な消火活動により最小限に抑えられている。		
成果 指標	指標名	消防車の平均到着時間	目標値 (H27年度)	10.0分
	指標設定 根拠・背景	緊急自動車の災害現場への早い到着は，到着後の消防隊の活動を早め，火災の延焼拡大を阻止することができ，火災の被害が最小限に抑えられることにつながる。		現状値 (H22年度) 10.5分
資源投入 の方向性			拡大します	

●施策－34：交通安全対策の推進

—担当部：生活安全部，土木部，都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

市民が主体となって交通安全活動に取り組んでいます。また，利用者が道路を安全安心に通行しています。

【行政の使命（ミッション）】

市民と行政が協働し，関係機関との連携のもと交通安全意識の高揚を図ります。また，利用者が安全・安心に通行できるよう生活道路・橋梁・交通安全施設の維持管理，整備を進めます。

【重点戦略】

- ◆市民の安全で安心な暮らしをつくる生活道路の整備促進（土木部）
- ◆安全・安心な交通空間づくりのための交通安全施設の整備（土木部）
- ◆橋りょうの耐震整備と適正な維持管理（土木部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－90：交通安全意識の高揚

—担当課：地域課—

《概要》

関係機関と連携して交通安全教育・街頭啓発活動を拡充します。


目的		市民が交通事故に遭わず安全安心に生活している。		
成果 指標	指標名	交通事故死傷者数	目標値 (H27年度)	1,400人 以下
	指標設定 根拠・背景	市内で発生した交通事故死傷者数の減少は、市民の交通安全意識の高揚が図られ、安全安心に生活していることを示している。		現状値 (H22年度)
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－91：生活道路の整備推進

—担当課：道路整備課，道路用地課，建築指導課—

《概要》

地元要望に基づく生活道路の整備を進めます


目的		道路利用者が円滑に安心して通行している。		
成果 指標	指標名	市道整備率	目標値 (H27年度)	50.3%
	指標設定 根拠・背景	市道整備率の増加は、生活道路の整備が推進され、道路利用者が円滑に安心して通行していることを示している。		現状値 (H22年度) 48.8%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－９２：交通安全施設の整備推進

—担当課：道路保全課—

《概要》

歩道や道路反射鏡等の安全施設の整備を進めます。


目 的		市内道路の利用者が安全に通行している。		
成果 指標	指標名	市道における死傷者 事故件数	目標値 (H27年度)	509件 以下
	指標設定 根拠・背景	市道における死傷者事 故件数の抑止は、交通安 全施設の整備が推進さ れ、利用者が安全に通行 していることを示して いる。	現状値 (H22年度)	565件
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－93：市道の維持管理

—担当課：道路保全課，土木総務課—

《概要》

道路パトロールを実施し，舗装や側溝の維持管理に努めます。

目的		市道が利用者にとって安全で安心して通行できるように適切に維持管理されている。		
成果指標	指標名	舗装の陥没等に起因する事故件数	目標値 (H27年度)	0件
	指標設定 根拠・背景	舗装の陥没等に起因する事故件数の抑止は，市道の維持管理が図られたことを示している。	現状値 (H22年度)	8件 ※過去3年間（平成20～22年度）の平均値
資源投入の方向性			拡大します	

●施策－35：建築物の安全性確保

—担当部：都市整備部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

建築物の安全性が確保され、市民が安全に生活しています。

【行政の使命（ミッション）】

あらゆる建築物が建築基準法に適合するよう、指導・助言します。

【重点戦略】

◆なし


【具体的な取組】

◇ **単位施策－94：安全で良質な建築物の確保**

—担当課：建築指導課—

《概要》

建築確認申請の厳格な審査を行い、建築主に対して、完了検査の実施を徹底し、完了検査合格率の向上をめざします。不特定多数の人が利用する建築物の維持管理について指導します。

目 的		建築物の安全性が確保され、市民が安全に生活している。		
成果 指標	指標名	建築確認申請を受けた建築物の完了検査合格率	目標値 (H27年度)	96%
	指標設定 根拠・背景	完了検査合格率を向上させることは、建築物の安全性や建築規制の実効性が確保され、安全安心な住まいづくりにつながる。	現状値 (H22年度)	92.79%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

§ 政策－１４

安心できる市民生活を確保します

●施策－３６：防火・防犯対策の推進

—担当部：生活安全部，消防本部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

自主防火，自主防犯の組織が確立され，近隣住民同士が，安心して暮らせるまちになっています。

【行政の使命（ミッション）】

関係機関，団体等と連携し，市民，事業所等への火災予防啓発を推進するとともに，地域の特性に応じた犯罪防止の活動を推進します。

【重点戦略】

◆なし


【具体的な取組】

◇ **単位施策－95：防犯意識の高揚**

—担当課：地域課—

《概要》

警察、防犯協会等と連携し、防犯に関する啓発や防犯灯補助等を通じて犯罪防止の活動を推進します。


目的		市民が犯罪に対する不安を感じることなく安心して生活している。		
成果 指標	指標名	犯罪認知件数	目標値 (H27年度)	2,800件 以下
	指標設定 根拠・背景	犯罪認知件数が減少することは、犯罪が減少していることであり、市民が安心して生活できることにつながる。	現状値 (H22年度)	3,382件
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－96：火災予防対策

—担当課：予防課—

《概要》

建物火災の発生状況の半数が住宅火災であり，事業所等への防火指導をはじめ，市民に住宅用火災警報器の設置を促進します。

目的		火災による負傷者等が減少している。		
成果 指標	指標名	住宅用火災警報器の 設置率	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	住宅用火災警報器の設 置の増加が火災による 負傷者の減少につなが る。	現状値 (H22年度)	74.5%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

●施策－３７：救急・救命対策の推進

—担当部：消防本部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

不意な怪我や病気等に対応できる救急体制が整備され、市民が安心して暮らせるまちとなっています。

【行政の使命（ミッション）】

救急患者に対して適切な救命処置を施し、早期に医療機関へ搬送できる体制を整備するほか、市民への応急手当の普及啓発を行うなど、市民と一体となった救急救命対策の推進を図ります。

【重点戦略】

◆救急業務高度化推進（消防本部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－97：救急業務高度化の推進**

—担当課：消防課—

《概要》

医療機関との連携を図るとともに、救急隊員の養成や救急車両の整備、高度救急資機材の点検・整備、感染防止対策等を行います。


目的		救急患者が早期に高度な救急措置を受けている。		
成果 指標	指標名	救急車の平均到着時間	目標値 (H27年度)	6.6分
	指標設定 根拠・背景	平均到着時間が短縮されることは、救急隊が救急患者のもとへ迅速に到着していることになり、救急患者が早期に高度な救急処置を受けられることにつながる。	現状値 (H22年度)	7.8分
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－ 98 : 応急手当の普及

—担当課：消防課—

《概要》

救急法講習会の開催や「市民救急の家」の募集等を行います。

目的		応急手当が普及し、救急現場に居合わせた人が、傷病者に応急処置をしている。		
成果 指標	指標名	救急現場での応急手当実施率	目標値 (H27年度)	5.5%
	指標設定 根拠・背景	応急手当実施率が向上することは、市民に 応急手当が普及しており、 傷病者に応急処置が施さ れていることにつながる。	現状値 (H22年度)	2.4%
資源投入 の方向性			拡大します	

●施策－３８：上水道の安定供給

—担当部：水道局—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

市民が、安全でおいしい水道水を安価で安定的に利用しています。

【行政の使命（ミッション）】

健全経営に努めながら、鈴鹿市上水道第５期拡張事業（地震等災害対策と水質向上対策に重点とする施設整備）を計画的に推進します。また、常に施設、水質の適正管理に努め、安全でおいしい水道水を安定的に供給します。

【重点戦略】

- ◆計画的な施設整備（水道局）
- ◆健全経営の推進（水道局）
- ◆おいしい水の供給（水道局）
- ◆啓発・PRの推進（水道局）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－９９：企業性を重視した水道事業の経営**

—担当課：水道総務課—

《概要》

水道事業の健全化をめざして、計画的かつ効率的な企業経営を推進します。


目 的		水道事業が健全に経営されている。		
成果 指標	指標名	水道事業の経常収支 比率	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	経常収支比率は、収益性 を見る際の最も代表的 な指標であり、この比率 が100%以上であれば黒 字となり健全な経営で あることを表している。	現状値 (H22年度)	108.4%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－１００：水道料金に関する事務の効率化

—担当課：営業課—

《概要》

民間へ業務委託することにより，水道事業の効率化と，より質の高い市民サービスを拡充します。


目 的		多様なニーズに適応したサービスを提供することで，市民に廉価で安定した水を提供している。		
成果 指標	指標名	水道料金収納率	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	収納率が向上することにより，水道事業経営が維持でき，廉価で安定した水の供給につながる。	現状値 (H22年度)	99.35%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－１０１：水道施設の整備・更新

—担当課：工務課—

《概要》

老朽管や取水・送水・配水施設の計画的な整備・更新を行います。


目的		上水道が安全で安定的に供給されている。		
成果 指標	指標名	管路整備率	目標値 (H27年度)	26%
	指標設定 根拠・背景	老朽管の整備率が増加することは、漏水等の事故の発生率を低下させ、事故の発生が少なくなることにより安定的な上水道の供給が行える。		現状値 (H22年度) 7%
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－１０２：需要者ニーズを踏まえたサービスの充実

—担当課：工務課，営業課—

《概要》

市民からの給水申し込みに対して希望期間内に工事を実施します。


目 的		市民が満足のいく水道サービスを受けている。		
成果 指標	指標名	受託工事に対する実施率	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	希望期間内に工事が実施されていることは、市民が満足のいく水道サービスを受けていることにつながる。	現状値 (H22年度)	100%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－１０３：水道施設の維持管理

—担当課：水源課，工務課—

《概要》

水道施設の適正な維持管理を行うことで，水を安全で安定的に供給します。

目的		水道施設の毎日点検・保守を行うことにより，市民がおいしい水を飲んでいる。		
成果指標	指標名	塩素臭からみたおいしい水達成率（水質基準を満たした上でよりおいしい水を給水するための指標は，残留塩素濃度が0.1mg/ℓ以上～0.4mg/ℓ未満である。）	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定根拠・背景	塩素臭からみた，おいしい水達成率の向上は，市民がおいしい水を飲めることにつながる。	現状値 (H22年度)	96%
資源投入の方向性			拡大します	

●施策－３９：相談機能の拡充

—担当部：産業振興部，生活安全部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

日常生活・消費生活に不安・問題を抱える市民が，専門的知識や情報を持つ相談員から適切なアドバイスを受けてトラブルを解決し，安心な生活を送っています。

【行政の使命（ミッション）】

市民の幅広いニーズに応えられる専門的な相談員との相談機会の確保を積極的に行うとともに消費者リーダー等の人材育成を行います。そして，市民からの相談に的確かつ迅速に対応できる市民相談窓口としての機能強化及び消費生活センターの機能の充実を図ります。

【重点戦略】

◆なし


【具体的な取組】

◇ 単位施策－１０４：安心できる消費生活の確保

—担当課：産業政策課—

《概要》

消費者に啓発事業を通して正しい情報を提供します。また、消費生活センター等の周知を図り、相談機能を充実させます。


目的		消費者が、消費生活の正しい知識を身に付け、多様化・複雑化するトラブルを消費生活センター等に相談し、迅速に解決している。		
成果指標	指標名	消費生活センター相談件数	目標値 (H27年度)	1,600件
	指標設定 根拠・背景	消費生活センター相談件数の増加は、消費生活の啓発事業やセンターの周知活動によってセンターの認知度が高まり、相談機能が充実していることを示し、トラブルの迅速な解決につながる。		現状値 (H22年度) 1,281件
資源投入の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－１０５：市民相談窓口の充実

—担当課：市民対話課—

《概要》

市民の幅広いニーズに応えられる専門的知識や情報を持つ相談員と連携を図り、あらゆる相談に対応します。

目的		市民が、日常生活の問題を、専門的知識を持つ相談員との相談機会を活用し、迅速に解決している。		
成果指標	指標名	相談窓口利用件数	目標値 (H27年度)	2,100件
	指標設定 根拠・背景	相談窓口利用件数の増加は、広報活動によって認知度が高まり、相談機能が充実していることを示し、市民の日常生活の問題が迅速に解決することにつながる。	現状値 (H22年度)	1,781件
資源投入の方向性		 現状を維持します		

第6章 構想の推進のために

§ 主要テーマー 1

市民みんなで取り組むまちづくりをめざします

●施策ー40：市民参加が活発なまちづくり

—担当部：生活安全部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

市民が、自らまちづくりに参加し、市民と行政による協働のまちづくりが行われています。

【行政の使命（ミッション）】

市民と連携し、それぞれの責任と役割のもと、市民がまちづくりに参加できる仕組みや活動環境の充実を図ります。

【重点戦略】

◆市民が主役のまちづくり（生活安全部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－１０６：市民参加のまちづくりの推進

—担当課：地域課，各課—

《概要》

市民参加に関する仕組み等を整備し，市民参加によるまちづくりを推進します。


目 的		市民が積極的にまちづくりに参加している。		
成果 指標	指標名	地域の課題を解決するために，地域住民や各種団体等で構成された地域組織の設立数	目標値 (H27年度)	17団体
	指標設定 根拠・背景	当該組織の設立数が増加することは，市民参加のまちづくりが推進されたことになる。	現状値 (H22年度)	8団体
資源投入 の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－１０７：市民参加の活動環境の充実

—担当課：地域課—

《概要》

市民活動センターの設置等も含め、市民参加の活動環境の充実を図ります。

目的		充実した活動環境により、市民のまちづくりへの参加が拡大している。		
成果指標	指標名	市民がまちづくりの活動を行う主要施設の設置数	目標値 (H27年度)	327か所
	指標設定 根拠・背景	公民館、コミュニティセンター、自治会集会所等のまちづくり活動を行う主要な施設が増加することは、市民参加の活動環境が充実したことにつながる。	現状値 (H22年度)	324か所
資源投入の方向性			拡大します	

●施策－４１：市民との情報共有の推進

—担当部：企画財務部，総務部，生活安全部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

市民と行政が，情報を共有することで，市民がまちづくりに参加しやすい環境が整備されています。

【行政の使命（ミッション）】

様々な方法や機会を活用して，積極的に情報を提供するとともに，対話などを通して，市民の声を的確に把握します。

【重点戦略】

- ◆情報提供の推進（企画財務部）
- ◆対話中心の広聴の推進（生活安全部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－１０８：市民への情報提供の推進

—担当課：秘書広報課，市政情報課，各課—

《概要》

多くの市民のニーズに対応できるよう、「鈴鹿市ホームページ」や「広報すずか」、「テレビ広報」、「ラジオ広報」等，様々な方法で積極的に情報提供を行います。


目的		市政情報や市内の情報がより多くの市民に提供され，市政やまちづくりに対する市民の関心が高まっている。		
成果指標	指標名	鈴鹿市ホームページへの年間アクセス件数	目標値 (H27年度)	1,000万件
	指標設定 根拠・背景	インターネットは市民にとって身近な情報収集手段となっています。鈴鹿市ホームページへのアクセス数が増加することは，市政に関する情報が多くの市民に提供され，関心を持たれていることを示している。	現状値 (H22年度)	806万件
資源投入の方向性		 拡大します		

◇ 単位施策－１０９：市民の声の的確な把握

—担当課：市民対話課，秘書広報課，各課—

《概要》

「市政への提言」や「市長と話そう！鈴鹿（まち）づくりミーティング」等，様々な方法で，市民との対話を積極的に推進します。

目的		多様化する市民ニーズを的確に把握することにより，市民生活に密着した行政サービスが提供されている。		
成果 指標	指標名	「市政への提言」による広聴を行った件数	目標値 (H27年度)	100件
	指標設定 根拠・背景	手紙やメール等，様々な方法で寄せられる「市政への提言」による広聴件数の増加は，多様化する市民ニーズの的確な把握につながる。	現状値 (H22年度)	63件
資源投入 の方向性			拡大します	

§ 主要テーマー 2

時代の変化に対応した行政経営をめざします

●施策－42：自治力^{※35}の強化

—担当部：企画財務部，総務部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

安定的に経営資源が確保され，地域の特性と魅力を活かし，自己決定と自己責任に基づき，市民に信頼される行政経営が行われています。

【行政の使命（ミッション）】

鈴鹿市コンプライアンス推進大綱に基づき，進展する地方分権型社会，変化する社会情勢，多様化する市民ニーズに柔軟に対応できる組織づくり，人づくりを進めるとともに，シティセールスと自主財源の確保に努めます。

【重点戦略】

- ◆地方分権型社会に対応できる人材の育成（総務部）
- ◆シティセールスの推進（企画財務部）
- ◆自主財源の積極的な確保（企画財務部）

※35 「自治力」・・・基礎自治体として自己決定と自己責任に基づく経営を行うための能力


【具体的な取組】

◇ 単位施策－１１０：国・県との連携

—担当課：企画課，総務課，各課—

《概要》

国や県に対し政策提案，並びに，制度改正や財源の確保等に向けた改善要望を行い，国や県の政策及び市が重点的に推進する施策の早期実現を図ります。また，情報の収集を積極的に進めます。


目的		国や県に対して政策提案及び改善に向けた要望活動を行うことは，市が重点的に推進する施策の早期実現につながる。		
成果 指標	指標名	市からの要望事項に対する県の対応率	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	対応率が上がることは，国や県の協力が得られたことになり，課題解決につながる。	現状値 (H22年度)	73%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－１１１：シティセールスの推進

—担当課：企画課，各課—

《概要》

鈴鹿のイメージアップにつながるブランドの創設や既存ブランドの価値を高めていくとともに、市の魅力や個性を内外に発信するための人的ネットワークの形成や積極的な情報発信を行います。

目的		市の魅力や個性を積極的にアピールし、将来都市像実現に向けて必要となる様々な資源を獲得している。		
成果指標	指標名	SUZUKAと・き・め・きファン倶楽部※ 36ホームページへの年間アクセス数	目標値 (H27年度)	365,000 件
	指標設定 根拠・背景	ホームページへのアクセス件数が増えることは、市の魅力や個性を内外に発信する機会が増えることになり資源獲得につながる。	現状値 (H22年度)	351,564 件
資源投入の方向性			拡大します	


※36 「SUZUKAと・き・め・きファン倶楽部」・・・鈴鹿の魅力を全国に発信する組織で、鈴鹿市のことが好きで、自主的に鈴鹿の魅力やPRしていただける個人の皆さんが集まってできた鈴鹿市のサポーターズクラブ（応援団）

◇ 単位施策－１１２：機動的な組織・体制の構築

—担当課：人事課，企画課，各課—

《概要》

職員配置の重点化及び適正化によって，機動的な組織・体制を構築します。


目 的		業務の質や量に応じて機動的に対応することにより簡素で効率的な組織が運営されている。		
成果 指標	指標名	定員適正化計画の目標達成率（実削減人数／目標削減人数×100）	目標値 （H27年度）	100%
	指標設定 根拠・背景	定員適正化計画の目標の達成は，最少の経費でより質の高い行政サービスが提供できる状態であり，機動的な組織・体制づくりにつながる。	現状値 （H22年度）	91%
資源投入 の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－１１３：環境の変化に対応できる人材育成

—担当課：人事課，総務課—

《概要》

効果的な職員研修によって，環境の変化に対応できる人材育成を行います。


目的		職員が政策形成能力，専門知識，業務意欲などを高める研修を受講することにより，職員の資質の向上が図れている。		
成果指標	指標名	研修に関する理解度を含めた職員満足度（受講職員アンケートにおける５段階評価の平均値）	目標値 (H27年度)	4.2
	指標設定 根拠・背景	研修に関する理解度を含めた高い職員満足度を確保する事は，職員の能力や業務意欲が向上している状態であり，結果として人材育成につながる。	現状値 (H22年度)	4.1
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－１１４：自主財源の積極的な確保

—担当課：納税課，市民税課，資産税課，秘書
広報課，各課—

《概要》

情報通信技術を活用した高度で効率的な申告システムや納税システムを拡充し，市民の自主納付意識を高めます。また広告事業を拡充し，使用料・手数料等を適正化して自主財源の積極的な確保を推進します。

目的		申告方法や納税方法が拡充され，安定的に市税が確保されています。また，多種多様な市有資源を利活用した広告収入や，市民サービスの適正な受益者負担など自主財源が確保されています。		
成果 指標	指標名	現年度課税分収納率	目標値 (H27年度)	98.00%
	指標設定 根拠・背景	主たる自主財源である市税の収納率が向上することは，自主財源の確保につながる。		現状値 (H22年度) 97.88%
資源投入 の方向性			拡大します	

●施策－４３：効果的・効率的な行政経営

—担当部：企画財務部，総務部—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

効果的，効率的な行政経営が行われ，質の高い市民サービスが提供されています。

【行政の使命（ミッション）】

限られた経営資源を有効に活用するため，選択と集中を図り，計画的で均衡のとれた行政経営を進めます。

【重点戦略】

- ◆総合的・計画的行政の推進（企画財務部）
- ◆計画的・効率的な財政運営（企画財務部）
- ◆行財政改革推進（総務部）


【具体的な取組】

◇ **単位施策－１１５：広域行政の推進**

—担当課：企画課，各課—

《概要》

県や関係市町と広域的な行政課題を共有し，その課題解決に向けた取組を行います。


目的		広域的な取組により，生活圏及び経済圏の拡大に対応した行政サービスを効果的，効率的に実施している。		
成果指標	指標名	広域行政推進のための会議において広域的な行政課題の解決に向けて協議した取組件数	目標値 (H27年度)	8件
	指標設定 根拠・背景	広域的な行政課題について自治体間で情報共有し課題解決のための協議を行うことは，広域行政の推進につながる。	現状値 (H22年度)	4件
資源投入の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－１１６：総合的・計画的行政の推進

—担当課：財政課，企画課，各課—

《概要》

行政評価の推進により，行財政経営計画や実施計画の明確で適切な進行管理を実施します。

目 的		受託責任 ^{※37} と説明責任を果たしながら，計画的な行政経営が行われている。		
成果 指標	指標名	単位施策評価の目標値に対する実績値	目標値 (H27年度)	80%
	指標設定 根拠・背景	単位施策評価の目的が達成されることは，計画的に行政が運営されていることにつながる。	現状値 (H22年度)	51.2%
資源投入 の方向性			拡大します	


※37 「受託責任」・・・「地方公共団体は，その事務を処理するに当つては，住民の福祉の増進に努めるとともに，最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。」という責任。

◇ 単位施策－１１７：民間活力の導入

—担当課：総務課，企画課，各課—

《概要》

公共的なサービスの提供に民間の資金やノウハウを活用した効率的で効果的な行政経営を行うため、PFI制度や指定管理者制度等、民間活力の導入を推進します。


目的		効率的で効果的な行政経営を行い，経費削減を図るとともに，より質の高い市民サービスが提供されている。		
成果 指標	指標名	指定管理者制度導入施設における満足度評価で，施設利用者が「満足」と評価した割合	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	指定管理者制度導入施設における満足度評価が高まることは，適切なサービス提供主体によって，公の施設が運営され，民間活力が適切に導入されていることにつながる。	現状値 (H22年度)	94%
資源投入 の方向性		 現状を維持します		

◇ 単位施策－118：事務の効率化と行政コストの削減

—担当課：総務課，市政情報課，各課—

《概要》

行財政改革を進め，事務の効率化を図り行政コストを削減します。


目的		事務の効率化を進め，行政コストを抑制することによって，効果的・効率的な行政経営が行われている。		
成果指標	指標名	職員数	目標値 (H27年度)	1,418人
	指標設定 根拠・背景	事務の効率化により事務量を軽減させることで，職員数が減少することは，行政コストの削減につながる。 ※現行の定員適正化計画の目標値を参照しています。		現状値 (H22年度) 1,452人
資源投入の方向性			拡大します	

◇ 単位施策－１１９：計画的・効率的な財政運営

—担当課：財政課—

《概要》

計画的で、均衡のとれた歳入と歳出予算により、健全な財政運営を行います。

目的		多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に弾力的に対応するための、安定的な財政基盤が確立されている。		
成果指標	指標名	将来負担比率	目標値 (H27年度)	65.0%
	指標設定 根拠・背景	将来負担比率は、一般会計等の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を指標化したもので、市債などの将来負担すべき実質的な負債を増やさないことや将来の負担に充てることができる基金を増やすことで、指標の改善とともに安定した財政運営が可能となる。		現状値 (H22年度) 75.2%
資源投入の方向性		 拡大します		

●施策－４４：適正な事務運営

—担当部：企画財務部，総務部，生活安全部，会計課，
選挙管理委員会事務局，監査委員事務局，公
平委員会—

【めざす地域のすがた（ビジョン）】

行政機能が適正に働き，市民から信頼される事務運営が行われています。

【行政の使命（ミッション）】

法令等に基づく事務や資産管理等を公正で正確，適正に行うとともに，監査，検査機能の充実を図ります。

【重点戦略】

◆証明書交付窓口の多様化と利便性向上（生活安全部）


【具体的な取組】

◇ 単位施策－１２０：法令等に基づく事務の推進

—担当課：市民税課，資産税課，総務課，契約調達課，市民課，会計課，選挙管理委員会事務局，各課—

《概要》

法令，条例及び規則等に基づき，公正で正確・適正な事務を執行します。


目的		市の事務が，法令等に基づき適正に執行されている。		
成果指標	指標名	行政手続研修に関する職員理解度（受講職員アンケートにおける設定問題の平均正答率）	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定根拠・背景	行政手続に対する理解度が上がることは，適正な事務執行に対する能力や意識が向上している状態であり，法令等に基づく事務の推進につながる。	現状値 (H22年度)	76.6%
資源投入の方向性			現状を維持します	

◇ 単位施策－１２１：監査・検査機能の充実

—担当課：監査委員事務局，工事検査課，会計課—

《概要》

鈴鹿市の予算の執行や事業が適正かつ効率的・効果的に行われているか監査，検査を実施します。

目的		監査，検査機能の充実により，チェック機能が果たされ，適正な行政経営が行われている。		
成果指標	指標名	監査結果に対する指摘事項の改善率 ^{※38}	目標値 (H27年度)	100%
	指標設定 根拠・背景	監査結果に対する指摘事項の改善率が上がることは，適正に鈴鹿市の各事業が行われ，適正な行政経営につながる。	現状値 (H22年度)	100%
資源投入の方向性			現状を維持します	


※38 「監査結果に対する指摘事項の改善率」・・・監査結果に対する指摘事項の改善率は，当該年度に指摘した件数のうち翌年3月31日までに提出期限がくるものの改善率

◇ 単位施策－１２２：適正な資産管理

—担当課：管財営繕課，会計課，各課—

《概要》

市の資産を適正に管理します。


目的		市の資産を，適切かつ効率的に維持・運用している。		
成果指標	指標名	本庁管理公用車数	目標値 (H27年度)	100台
	指標設定 根拠・背景	本庁管理公用車のうち集中管理車両数の拡大を図り，1台あたりの稼働率を上げながら本庁管理公用車数とそれに伴う維持管理費の削減を計画的に実施することは，資産の効率的・効果的な運用・管理につながる。		現状値 (H22年度) 106台
資源投入の方向性		 現状を維持します		

◇ 単位施策－１２３：情報資産の適正管理と共有

—担当課：市政情報課，各課—

《概要》

市が取り扱う情報資産※39について適正に管理，共有し活用します。

目的		行政の情報資産の機密性※40・完全性※41・可用性※42が維持された状態になっている。		
成果指標	指標名	情報セキュリティ事故※43の件数	目標値 (H27年度)	0件
	指標設定 根拠・背景	情報セキュリティ事故を防ぐことは，情報資産が適正に管理され，共有し活用することにつながる。	現状値 (H22年度)	0件
資源投入の方向性		 現状を維持します		

※39 「情報資産」・・・情報と情報システム

※40 「機密性」・・・許可された者だけが情報を利用できること

※41 「完全性」・・・情報が正確であること

※42 「可用性」・・・許可された者だけが必要な時に情報を利用できること


※43 「情報セキュリティ事故」・・・市民サービスに影響を及ぼす情報セキュリティ事故

◇ 単位施策－１２４：働きやすい職場環境の充実

—担当課：人事課，公平委員会—

《概要》

労働安全衛生を確保するとともに，職場環境の充実に努めます。

目的		職員が心身ともに健康で働けるような職場環境をつくることにより，適正な事務運営に基づいた行政経営が行われている。		
成果指標	指標名	時間外勤務時間が月80時間以上の年間延べ職員数	目標値 (H27年度)	200人
	指標設定 根拠・背景	職員の時間外勤務時間を削減する事により，心身ともに健康状態が保たれ，働きやすい職場環境の充実につながる。	現状値 (H22年度)	277人
資源投入の方向性			現状を維持します	

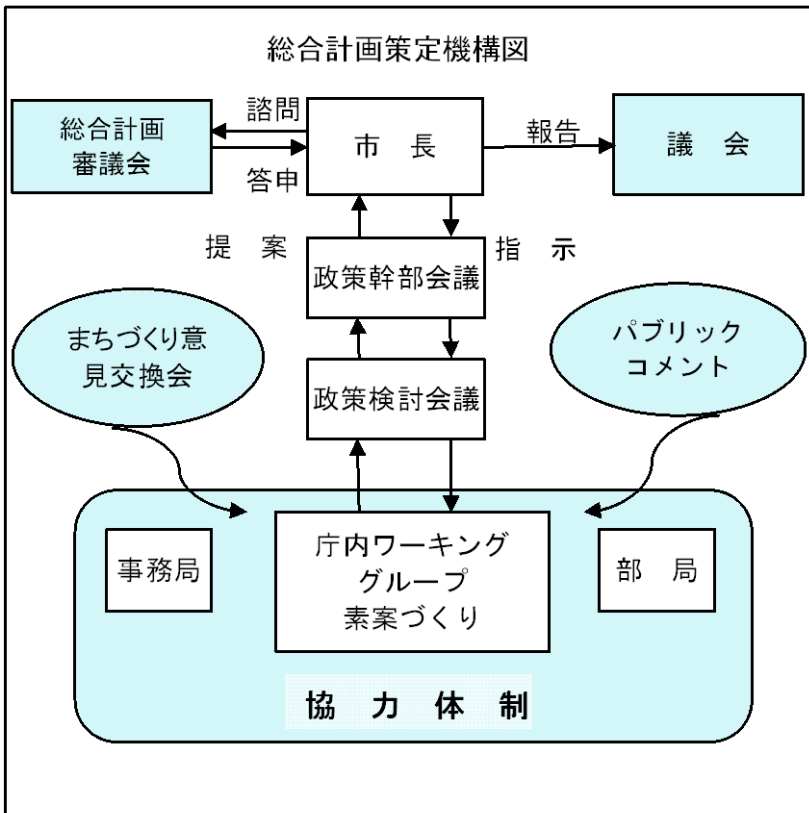
第 2 部

参 考 资 料

参考資料 1

●第3期行財政経営計画策定の経過

年月日	行財政経営計画策定庁内ワーキンググループ	総合計画審議会	市議会	その他
H23. 7. 13	全体ミーティング			
H23. 7. 13 ～ H23. 9. 06	素案作成			
H23. 9. 28			全員協議会	
H23. 10. 5 ～ H23. 11. 4				パブリックコメント
H23. 10. 14 ～ H23. 10. 23				まちづくり意見交換会開催(全2回)
H23. 11. 4		第1回鈴鹿市総合計画審議会		
H23. 11. 21		第2回鈴鹿市総合計画審議会		
H24. 1. 10		第3回鈴鹿市総合計画審議会		
H24. 3. 23			全員協議会	



参考資料 2

● 鈴鹿市総合計画審議会委員名簿

(正副会長, 50音順, 敬称略)

役 職	名 前	団 体 名	団体役職等
会 長	作 野 史 朗	鈴鹿医療科学大学	学 長
副会長	北 川 正 敏	鈴鹿市自治会連合会	会 長
委 員	片 山 祐 輔	鈴鹿工業クラブ	副 会 長
委 員	黒田 耕 一 郎	鈴鹿市漁業協同組合	代 表 理 事 組 合 長
委 員	清 水 浩 二	鈴鹿市老人クラブ連合会	会 長
委 員	鈴 木 紀 郎	鈴鹿市医師会	事 務 長
委 員	達 知 和 子	鈴鹿市芸術文化協会	理 事
委 員	谷 口 俊 二	鈴鹿農業協同組合	常 務 理 事
委 員	千 種 智 之	鈴鹿地区労働者福祉協議会	会 長
委 員	辻 正 二	鈴鹿市商業団体連合会	会 長
委 員	土 川 禮 子	鈴鹿市男女共同参画審議会	会 長
委 員	中 野 光 子	鈴鹿地区交通安全協会	女 性 部 会 長
委 員	長 谷 康 郎	鈴鹿市農業委員会	会 長
委 員	林 佳 代 子	鈴鹿市青少年育成市民会議	事 務 局 長
委 員	林 健 一 郎	鈴鹿青年会議所	理 事 長
委 員	平 井 憲 章	鈴鹿国際交流協会	理 事 長
委 員	福 嶋 礼 子	鈴鹿市教育委員会	委 員 長
委 員	松 鳶 正	鈴鹿商工会議所	副 会 頭
委 員	宮 本 佳 宥	鈴鹿市社会福祉協議会	副 会 長
委 員	山 崎 昭	鈴鹿市体育協会	理 事 兼 事 務 局 長

参考資料3

● 諮問書

鈴 企 第 7 2 5 号

平成23年11月4日

鈴鹿市総合計画審議会

会 長 作 野 史 朗 様

鈴鹿市長 末 松 則



諮 問 書

鈴鹿市総合計画審議会条例第2条に基づき、第5次鈴鹿市総合計画行財政経営計画（平成24年度～平成27年度）について、貴会の意見を求めます。

参考資料4

● 答申

平成24年1月12日

鈴鹿市長 末松 則子 様

鈴鹿市総合計画審議会
会長 作野 史朗



鈴鹿市総合計画について（答申）

平成23年11月4日付け鈴企第725号にて諮問のありました第5次鈴鹿市総合計画行政経営計画（平成24年度～平成27年度）について、本審議会では慎重に審議を重ねたところ、諮問された原案は概ね妥当なものとの結論に達しましたので、下記の意見を付して答申します。

記

1 全体について

長期にわたる経済不況や東日本大震災の発生など、経済状況や社会環境は依然として厳しく、また先行きも不透明な中、震災の教訓により防災施策の一層の充実や公共施設の耐震補強など、早急に取り組むべき課題も多い状況にあると考える。

財政状況が厳しい中ではあるが、市民が夢や希望を持ってまちづくりに取り組めるよう第3期行政経営計画を着実に進め、市民に信頼される行政経営に努められたい。

- ① 第3期行政経営計画を市民が理解し、施策の実現に向けて参画していくことが重要であるため、本計画の内容を市民にわかりやすく伝えるように取り組まれたい。
- ② 行政経営計画、財政計画及び行政改革計画は、密接な関連性があるので、各計画を並行して策定し、具現化するよう努力されたい。
- ③ 成果指標については、市民がわかりやすく、よりステップアップした指標を設定するように努めるとともに、本審議会での意見を参考にされたい。

2 政策の柱「人と文化を育むまちづくり」について

- ① 誰もが安心して子どもを生み育てることができる環境づくりのため、子育て支援施策を充実されたい。
- ② 児童生徒の学力や人間力の向上のための取組を推進されるとともに、多文化共生教育の推進など本市の先進的な取組を進められたい。
- ③ 鈴鹿らしい文化を育む施策を積極的に推進されたい。
- ④ 文化・スポーツ施設などの整備充実を図るとともに、利用者の立場に立った運営に取り組まれたい。
- ⑤ 生涯学習の場の提供や青少年健全育成のための活動支援を積極的に推進されたい。



- 3 政策の柱「環境と共生するまちづくり」について
- ① 地球温暖化防止及び自然を大切にすることを市民意識の向上を図るため、啓発活動に積極的に取り組まれない。
 - ② 緑豊かな自然と共生できる施策を講じられたい。
 - ③ 循環型社会構築のための取組を引き続き推進されたい。
- 4 政策の柱「誰もが暮らしやすいまちづくり」について
- ① 地域のつながりを見直し、住民同士が支え合う福祉のまちづくりの実現に努められたい。
 - ② 市民の健康づくりのための施策を総合的に実施し、病気を未然に防ぐための健康診断や検診の充実と併せて、医療資源の確保・医療体制の充実に取り組まれない。
 - ③ 男女共同参画社会実現のための取組を強化されるとともに各方面での女性登用の推進を図られたい。
 - ④ 児童虐待やDVに対して、関係機関と連携を図りながら総合的に取り組まれない。
 - ⑤ 労働環境の充実を図るとともに、就労支援策を引き続き推進されたい。
- 5 政策の柱「いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり」について
- ① 幹線道路等の社会資本の整備については、総合計画の基本構想における土地利用構想の実現に向けた計画的な取組を推進されたい。
 - ② 市内産品の魅力や認知度を向上させ、地域産業全体の活性化を図るとともに安定した経営基盤づくりのための施策を推進されたい。
 - ③ 企業誘致を具現化するための基盤づくりを推進されたい。
- 6 政策の柱「安全で安心できるまちづくり」について
- ① 東日本大震災を教訓に、大規模地震や津波への対応を今一度見直し、国や県との連携を図りながら、防災・減災のための施策を一層推進されたい。
 - ② 交通事故防止施策を引き続き積極的に推進されたい。
 - ③ 平時から様々な危機発生を想定し、その防止に努めるとともに、危機発生の際には、迅速に適切な対応をされたい。
 - ④ 市民と行政がそれぞれの役割を果たし、一体となって地域の防災力を高めることが出来るような環境整備を推進されたい。
- 7 「構想の推進のために」について
- ① 市民の参加・参画が活発なまちをつくるため、自主的な地域づくりを促進する施策を推進されたい。
 - ② 基礎自治体として、自己決定と自己責任に基づく安定した行政経営が行われるよう努められたい。
 - ③ 市民と行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、共にまちづくりができる仕組み作りに取り組まれない。
 - ④ 法令等に基づいた公平かつ公正な市政運営に努められたい。

参考資料5

●行財政経営計画策定庁内ワーキンググループ名簿

部会	役割	名前	所 属
第1部会	部会長	長野 克之	教育委員会事務局教育総務課
	副部会長	小崎 智弘	文化振興部文化課
		森口 康之	文化振興部スポーツ課
		片岡 健二	文化振興部生涯学習課
		前田 一則	保健福祉部子育て支援課
		白塚山 隆彦	教育委員会事務局教育総務課
		梅本 秀明	教育委員会事務局学校教育課
		高藤 富子	教育委員会事務局指導課
第2部会	部会長	浅野 浩	環境部環境政策課
	副部会長	山本 克也	環境部環境政策課
		伊藤 淳	環境部廃棄物対策課
		坂 卓 弥	産業振興部集落排水課
		山田 一郎	都市整備部市街地整備課
		笹間 栄二	都市整備部下水管理課
第3部会	部会長	藤井 康彰	保健福祉部生活支援課
	副部会長	吉崎 美穂	生活安全部市民対話課
		久保田 博	生活安全部人権政策課
		服部 伸仁	保健福祉部生活支援課
		渥美 裕子	保健福祉部健康づくり課
		加藤 稔明	教育委員会事務局人権教育課

第4部会	部会長	谷口 誠	都市整備部都市計画課
	副部会長	岡本 隆典	産業振興部産業政策課
		森川 洋行	産業振興部商業観光課
		赤塚 直樹	産業振興部農林水産課
		棚瀬 研一	土木部土木総務課
		奥西 真哉	都市整備部都市計画課
第5部会	部会長	梅山 幹雄	土木部土木総務課
		石坂 健	生活安全部防災安全課
		渥美 親彦	土木部土木総務課
		内藤 覚	土木部河川課
	副部会長	今村 隆之	都市整備部建築指導課
		望月 広志	水道局水道総務課
		落合 満弘	消防本部消防総務課
		飯田 行信	消防本部消防課
第6部会	部会長	古川 滋	総務部総務課
	副部会長	中村 昭宏	企画財務部企画課
		矢田 眞	企画財務部秘書広報課
		森 健成	企画財務部財政課
		仲道 達也	企画財務部財政課
		木村 春香	企画財務部財政課
		片岡 康樹	企画財務部市民税課
		森 一代	企画財務部納税課
	副部会長	坂 良直	総務部総務課
		高崎 英城	総務部人事課
		川北 章司	総務部市政情報課
		井上 伸枝	総務部管財営繕課
		河内 正人	生活安全部地域課
		川村 桃子	生活安全部市民対話課